5インチバイク用ナビゲーション

TNK-BB5000

取扱説明書

Ver　1.0.0

※ナビゲーション操作については、

別冊「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。

- この度は、5インチバイク用ナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

ご使用になる前に

<<パネルの保護シートについて>>

●本機種は製造および輸送時のキズ防止のために、液晶パネル面に保護シートを貼って出荷しています。ご使用になる時は、***保護シートは剥がしてお使いください。***貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。

<<車両等でのご使用の注意>>

●安全のため運転中の操作および画面の注視はしないでください。
●イヤホンを使用するときは、周囲の音が聞こえることを確認して安全に運転走行ができることを確認の上ご使用ください。
市販の両耳をふさぐタイプのイヤホンは使用しないでください。
●バイクへの取付の際は、しっかりとゆるみのないことを確認してください。
※長時間使用していると、ゆるみが発生することがございます。
必ず運転する前にしっかり固定されていることを確認してください。
●雨天で使用の際は、防水カバーが確実に閉じているか確認のうえご使用ください。
●直射日光の当たる場所、雨に当たる場所などに長時間放置しないでください。
本製品は、防水仕様（IPX5相当）ですが、しばらくお使いにならない場合は、
本体をスタンドから取り外して直射日光や雨などにあたらない場所に保管してください。

<<ＳＤカード、電源接続コードについて>>

●マイクロＳＤカードの必要以上の抜差しはおひかえください。抜差しする場合はマイクロSDカードの端子部（金属部）には触れないでください。（故障の原因となります）
●付属のDC電源接続コードはＤＣ１２ＶからＤＣ２４Ｖまで使用可能です。
●バイクから電源をとる場合は、必ずイグニッションオフ時に切れる電源ラインからお取りください。
車種によって変わりますのでバイク購入店やバイク専門店にご相談ください。
●電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。
社外の変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

<<登録情報について>>

大切な情報（登録地点など）は、万が一に備えてメモなどバックアップをとっておくことをおすすめします。
修理の際は、初期状態に戻すことがありますのでバックアップをおとりください。

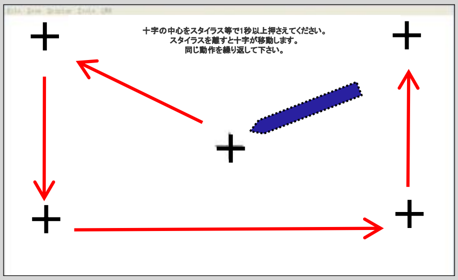
～～こんなとき～～

◆タッチパネルがうまく動作しない。!!

液晶パネルに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

◆画面真っ白になり、中央に“＋”　がでる。

※ポイント補正画面の指示に従い
「＋」をタッチしてください。
（「＋」を長押しして、移動したら
次の「＋」を長押しします。）
※付属のスタイラスペンなど先の細い
ペンなどを使用してください。
（指では太く補正できない場合があります）



初めてお使いになるときに
～初期設定について～

≪ナビゲーションのご使用の前に≫

ご使用前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

屋外の上空の開けた場所で、

現在地を表示するまでお待ちください。

初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、
数十分かかる場合があります。動かさずにお待ちください。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して
「設定」→「　＞次へ　」にて次ページ→「GPS情報」をタッチすると
受信状況が確認できます。(本取扱説明書の「GPS情報」参照ください。)

設定の次のページ

≪バイクへの取付≫

・バイクへの取付の際は、しっかりとゆるみのないことを確認してください。（運転の前に必ず確認してください。）

※詳しくは11ページをご覧ください。

・直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など風通しの悪い高温時になる場所で、長時間放置しているとスタンドの緩み、本体製品などの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。

本製品は、防水仕様（IPX5相当）になっておりますが、しばらくお使いにならない場合は、本体をスタンドから取り外して直射日光や雨などにあたらない場所に保管してください。

目　次

1. はじめに ------------1
2. 安全上のご注意 ------------2
3. 使用上のお願い ------------6
4. 商品構成 ------------8
5. 各部の名称 ------------9
6. リセット機能 -----------10
7. バイクの取付 -----------11
　7-1.バイクへの配線 -----------12
8. 本体電源の取扱方法 -----------13
9. メディア -----------14
　9-1.音楽 -----------15
　9-2.動画 -----------16
　9-3.写真 -----------17
10.システム設定 -----------18
　10-1.ボリューム設定 -----------18
　10-2.バックライト設定 -----------19
　10-3.日付・時間設定 -----------19
　10-4.画面補正設定 -----------20
　10-5.Bluetooth設定 -----------21
　10-6.ナビパス設定 -----------23
　10-7.言語設定 -----------23
　10-8.初期化設定 -----------24
　10-9.GPS情報 -----------24
　10-10.システム情報 -----------25
　10-11.USB設定 -----------25
11. ソフトウェア仕様 -----------26
12. ハードウェア仕様 -----------27
13. 困ったときには -----------28
14. お問い合わせ先 -----------29

1　はじめに

この度は当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき正しくお使いください。
本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、衛星よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行うシステムです。従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なりますのでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。

＜＜GPSナビゲーションの特性＞＞

①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が行われない場合があります。
②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPUに負荷が掛かりフリーズする場合もあります。この場合は本機のリセットボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境によってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
③電源をOFFする際、スリープモードと電源ＯＦＦ（完全に電源を切る）モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶しているため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセットボタンを押してください。
④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと測位完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめください。
⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと呼びます。）
いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの受信は速くなります。

2. 安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
🛇 禁止	“🛇”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源切ること

指示

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源を切ること

指示

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切ること

指示

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切ること

指示

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

⚠警告

●修理・分解・改造しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

火災・感電の原因となります。

●防水カバーを開けたまま水に濡らしたりしないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと

禁止

交通事故の原因となります。

●ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従うこと

禁止

交通事故の原因となります。

⚠注意

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと

禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること

指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は水で洗い、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●水没の危険がある場所におかないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないないこと

禁止

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しない

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、電源接続コードやその他外部接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

DC電源接続コードについて

⚠警告

●DC電源接続コードを分解、改造、修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

● DC電源接続コードは付属のものを使用すること

禁止

指定以外の電源接続コードを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

● DC電源接続コードのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

指示

火災・感電の原因となります。

● 付属のDC電源接続コードはDC12V～24V対応です。
電源変換器を内蔵しています。

禁止

他の電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

[redacted]

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

⚠注意

●ぬれた手でDC電源接続コードを抜差ししないこと

指示

感電の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。
プラグを持って抜いてください。

●付属のDC電源接続コードを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

●注意事項

・ＧＰＳ電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内 の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
・ＧＰＳ衛星は、米国国防総省により運用されていますが、ＧＰＳ衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお薦めします。
・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
・初回の充電は電源ＯＦＦにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも ２週間に１度など定期的な充電をお薦めします。
・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので、登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお薦めします。

●免責事項

・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

3. 使用上のお願い

ご使用に際して

●実際の交通規則、状況を優先して安全運転に心がけてください。
●イヤホンを使用されるときは周囲の音が聞こえることを確認し安全運転をお願いします。
●安全のため運転中の操作および画面の注視はしないでください。
●ご使用の前にバイクへの取付部がしっかりとゆるみ、ガタのないことを確認してください。
※長時間使用していると、ゆるみが発生することがございます。
必ず運転する前にしっかり固定されていることを確認してください。

取扱いについて

●ご使用になる前に必ず取り付けの確認をしてください。がた、ゆるみ等がありますと落下,振動により製品の故障、怪我などの事故になることがあります。
●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。

※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますので
あらかじめご了承願ください。

●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
●雨天で使用の際は、防水カバーが確実に閉じているか確認のうえご使用ください。

置き場所ついて

●直射日光の当たる場所、雨に当たる場所などに長時間放置しないでください。
本製品は、防水仕様（IPX5相当）ですが、しばらくお使いにならない場合は、
本体をスタンドから取り外して直射日光や雨などにあたらない場所に保管してください。
※本体をはずした際、DC電源接続コードのコネクターにキャップを確実に閉めてください。
故障の原因になる場合があります。

お手入れついて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。
変色したり、塗 装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
　対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、**万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
●抜差しする場合には、microSDカードの端子（金属部）には触れないでください。
●メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに長時間放置すると、破損、故障の原因になることがあります。
●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

4.　商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

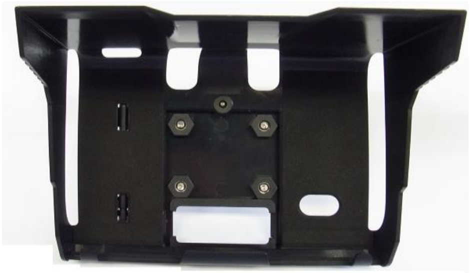
※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

①本体

（バッテリー内蔵）

②DC電源接続コード

③台座



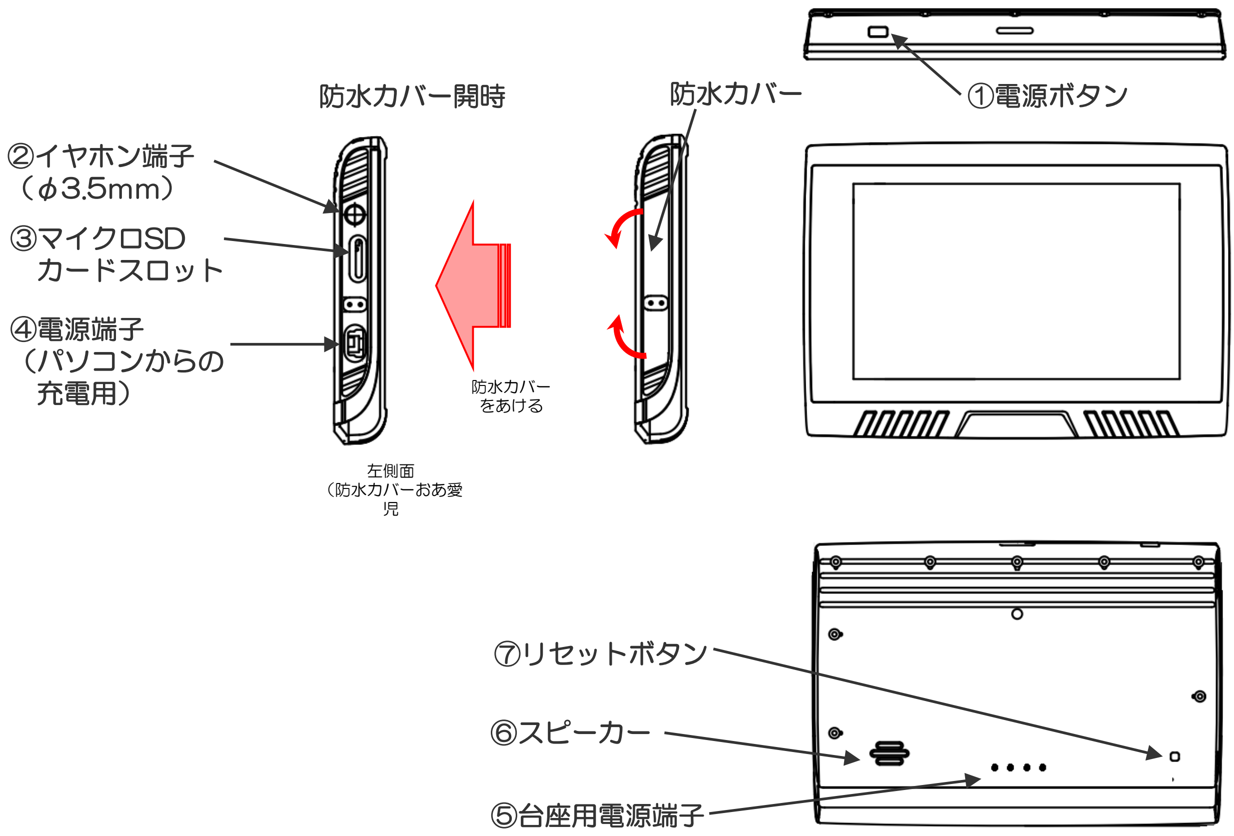
④バイクハンドル用マウント

⑤ブルートゥース対応イヤホン
（イヤホン用充電USBコード付）

⑥ スタイラスペン
（台座に付属）

⑦ かんたん操作マニュアル
注意文（保証書付）

5. 各部の名称

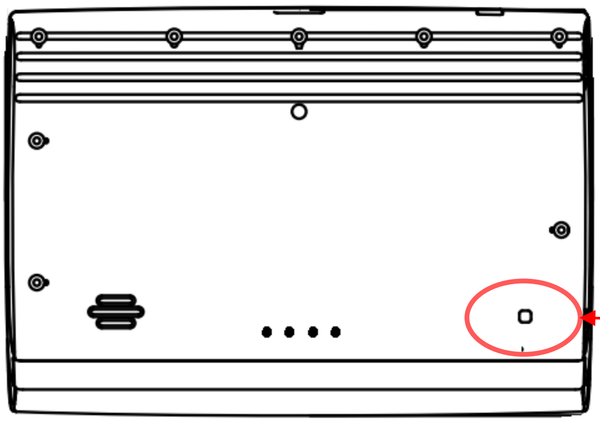


①電源ボタン	電源のオン／オフ用スイッチ（3秒間長押し）
②イヤホン端子（防水カバー内）	φ3.5mmステレオイヤホン用の端子
③マイクロSDカードスロット（防水カバー内）	メディア（音楽、動画、写真）再生用 マイクロSDカード挿入スロット
④電源端子（防水カバー内）	市販のミニUSB-USBケーブルにてパソコンなどのUSB端子からの充電用
⑤台座用電源端子	台座取付け時用電源端子接点
⑥スピーカー	本体から聞くときの音声用スピーカー
⑦リセットボタン	フリーズ等動作不良時の再起動用ボタン

※マイクロSDカードスロットは防水構造のため、スロット位置が深くなっております。
挿入／取外しの際は、市販のピンセット等を使用しておこなってください。

6. リセット機能

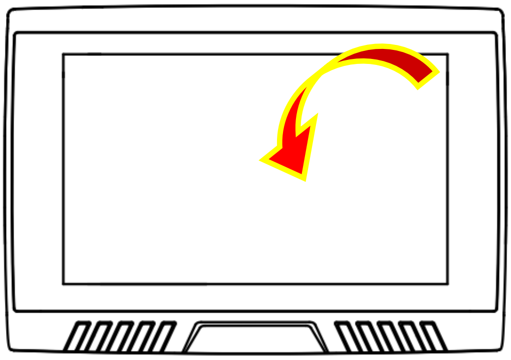
【ハードリセット】
本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、スタイラスペン等でリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。



※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記の「リセットボタン」をスタイラスペン等で押してリセットを行ってください。

パネルの保護シート（フィルム）について

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。
ご使用になる際は、保護シートを剥がしてお使いください。
貼ったままにしていますと、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



保護シートをはがす。

7. バイクへの取付

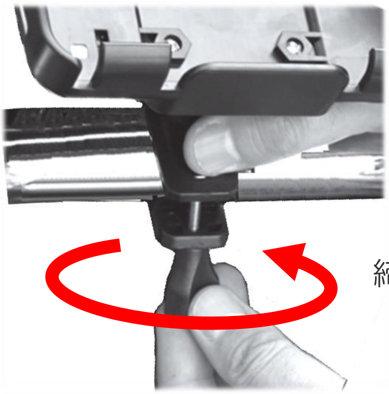
＜取付け用台座の組立＞

①台座の球部をバイクハンドル用
マウントに取付ける。
②取付けナットを締めて固定する。

＜ハンドルへの取付＞

①組立てた取付け台座のマウントのネジをはずし
ハンドルに取付ける。
②見やすい位置を決め、マウントのネジを取付けて
しっかりと締め固定する。

※取付け可能なハンドルの直径は
7/8インチ（22.2mm）～1インチ（25.4mm）です。



＜製品本体の取付＞

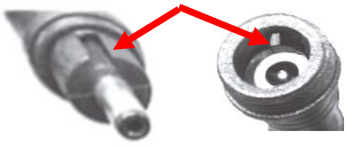
①本体を台座に上のフックにパチンと
はめ込む。
②背面のネジで締め、本体を台座に
しっかりと固定する。

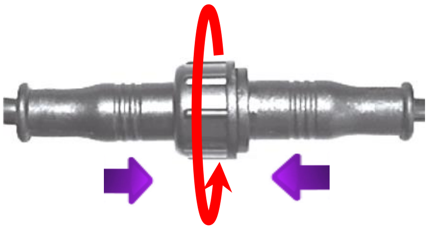
①本体を台座にはめる。

②取付けナットを締める

＜コード接続＞

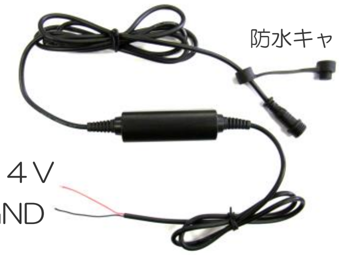
①台座からのケーブルと
DC電源接続コードの
コネクターを接続する
（溝を合わせて差込みます）。
②コネクターについているナットを
回して締付ける。
※コネクターを抜いた場合は、
防水キャップをはめてください。





＜バイク車両への接続＞

バイクからの電源をとる場合は、
必ずイグニッションオフ時に
切れる電源ラインからとってください。
車種によって変わりますので
バイク購入店やバイク専門店にご相談ください。
※常時,オン電源ラインに接続した場合、バイクの
バッテリーが上がることがございます。



付属のDC電源接続コード

７－１．バイクへの配線

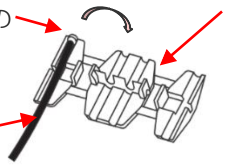
電源コードの配線（例）

＜バイク車両への接続方法＞

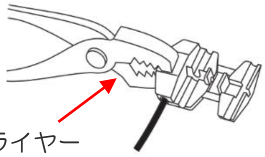
●本製品の取付けには専門知識が必要です。また、車種により仕様が変わりますのでご不明の際は**バイク購入店やバイク専門店にご相談ください。**
●バイクからの電源をとる場合は、必ずイグニッション連動の電源ライン（DC12-24V)からとってください。（アクセサリー、リアブレーキランプ、メインスイッチなどイグニッション連動している電源ラインなど）
●上記電源ラインからは電流が足りない場合は、市販のリレーを使用してバッテリーからの取付けをお勧めします。専門知識が必要です。

＜バイク車両の電源コードの接続方法（付属の配線ロック使用例）＞

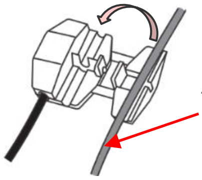
①付属のDC電源接続コードの赤（＋）を配線用ロックのストッパーのある側にセットする。



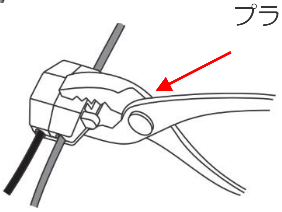
②ふたを折り、プライヤーなどでカチッとロックされるまでしっかりと挟み込む。



③バイク車両のプラス電源（+12V-24V）（※１）がきている配線をもう一方にセットする。
※1　エンジンキーON時に通電、OFF時に電源が切れるコードを使用のこと。

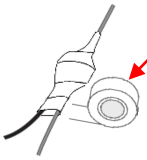


④ふたを折り、プライヤーなどでカチッとロックされるまでしっかりと挟み込む。

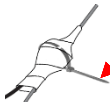


＜注意＞
浮きがなくしっかりとロックされていることを確認してください。

⑤接続後、防水テープ等（市販品）で巻いて保護してください。



⑥結束バンド（市販品）などで、上から縛ると結束が安定します。



※上記同様にもう一個の配線用ロックを使用して、付属のDC電源接続コードの黒（ー）をバイク車両のマイナス電源（GND線）に接続する。

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

8.　本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

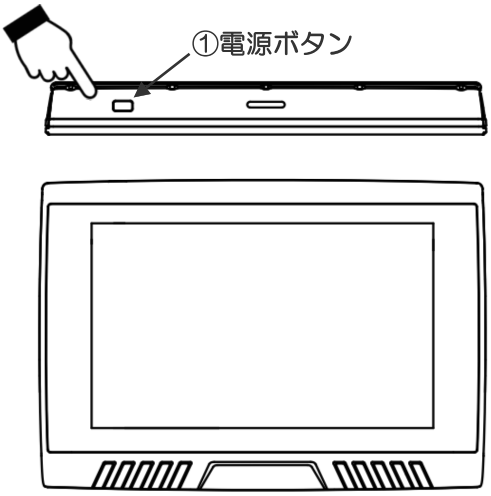
1. 付属DC電源接続コードについて

本機は、バイクから付属のDC電源接続コードを使用して本体に5Vを供給し駆動する事ができます。
（バッテリー仕様によるコードレス使用もできます。）

2.　イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、外部から接続した電源がＯＮ/OFFすると本体の電源も自動的にON／OFFする電源の連動ON/OFF機能(オートスタート機能）を搭載しています。
付属のDC電源接続コードをイグニッションキー連動の電源ラインから接続すると
エンジンのイグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができたいへん便利です。

3.　電源ボタンの使い方



＜電源を入れる時＞

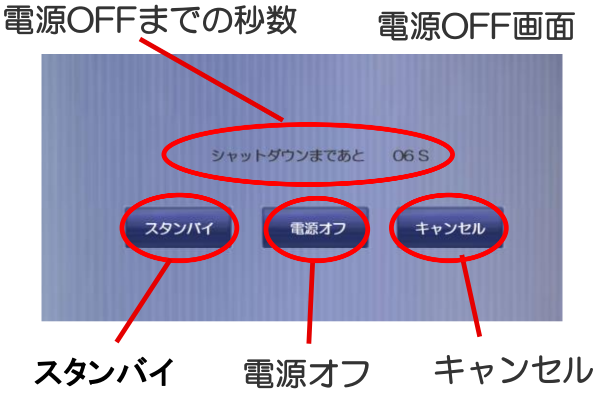
電源ボタンを長押し（約3秒間）すると
電源がＯＮしメニュー画面になります。

＜電源を切る時＞

電源ボタンを長押し（約3秒間）すると
電源ＯＦＦ画面になります。
そのまま約10秒立つと自動的に電源はＯＦＦします。

＜電源ＯＦＦ画面＞

- **電源オフ**：電源がすぐに切れます。
  （電源オフを押さなくても約10秒後には自動的に切れます。）
- **スタンバイ**：再度電源ON時にすばやく起動します。
  （長時間電源を接続しない場合バッテリーが消費しまうのでご注意ください。）
- **キャンセル**：元の画面に戻ります。



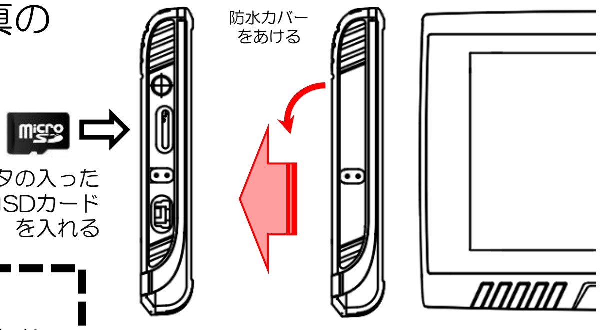
9.メディア

本メディア機能ではパソコンなどからマイクロSDカードにいれた
音楽、動画、写真 をお楽しみいただけます。

①音楽などの入ったマイクロSDカードをいれる。

パソコンなどからお好みの音楽、動画、写真の
データを入れたマイクロSDカードを側面に
入れる。

※マイクロSDカードスロットは防水構造のため、
スロット位置が深くなっております。
挿入／取外しの際は、市販のピンセット等を
使用しておこなってください。



＜注意＞
防水カバーは確実にしめてください。浮いていると、水が入ったり
台座挿入時に引っかかったりして破損の原因になります。

②「メディア」機能にする

メインメニューから「メディア」アイコンをタッチして
お好みの音楽、動画、写真　をお選びください。

メディアメニュー（選択画面）

③お好みのメディア内のソースを再生する。

下記のボタン操作に従ってお楽しみください。

音楽の場合

	前の画面に戻る。		ミュージックファイルリスト画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。

動画の場合

	前の画面に戻る。		ビデオファイルリスト画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。

写真の場合

	前の画面に戻る。		フォトファイルリスト画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90°回転する。		写真画像を全画面にする。（ダブルタッチで元画面に戻る）
	スライドショーにする。（約5秒起きに写真が変わります）		

音楽、動画、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。また、下記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。その際は、カードを変えてご使用ください。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	／	／
	WMA	64kbps	／	／
動画	3GP	1500kbps	Upto 320x240	25fps
	AVI	1500kbps	Upto 480x272	30fps
	WMV	1500kbps	Upto 480x272	30fps
	ASF	285kbps	Upto 320x240	25fps
写真	JPG、BMP	／	2560x1600	／

9-1. 音楽

パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

”音楽”を選ぶ

※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「音楽」をタッチします。
2. 「SDMMC]をタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。）
3. お好みの音楽を選んでタッチすると操作画面にかわり、音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）

「音楽」をタッチ

「SDMMC」をタッチ

聞きたい「曲」をタッチ

4. 操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。（再生は終了します）		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
再生方法	：リピート無 ：一曲リピート ：リピート ：ランダム	00:05 / 03:28	曲の進捗確認 曲の進行により、丸ボタンが移動します。
	メディアメニュー画面に戻る（再生は継続します）		丸いボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。

※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

操作画面

9-2. 動画

パソコンなどからmicroSDカードに入れたビデオ(動画)をお楽しみいただけます。

“動画” を選ぶ

※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「動画」をタッチします。
2. 「 SDMMC]をタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。）
3. お好みの動画を選んでタッチすると音楽が始まります。

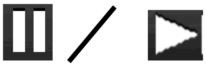
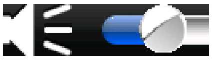
メディアメニュー（選択画面）

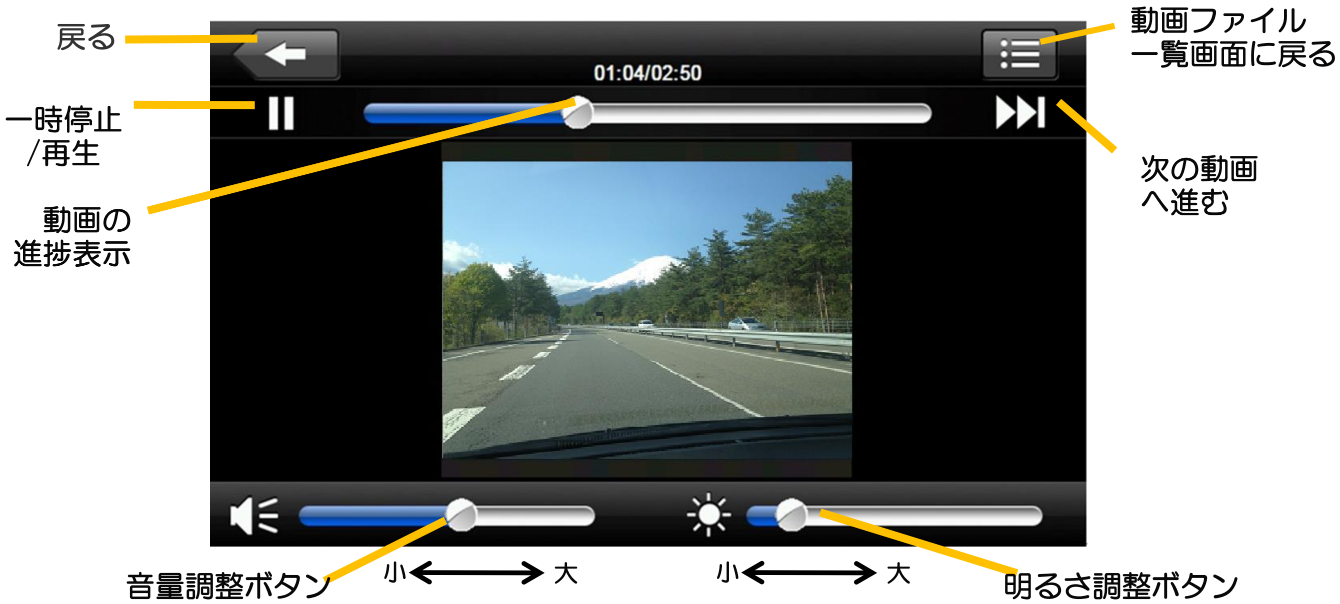
「動画」をタッチ

「SDMMC」をタッチ

見たい「動画」を
タッチ

4. 操作画面でビデオ（動画）の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		ビデオファイルリスト画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸いボタンの左右をタッチして 音量を調整する。		丸いボタンの左右をタッチして 画面明るさを調整する。



※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質（SD）までです。高画質（HD）には対応しておりません。
※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

9-3.　写真

パソコンなどからmicroSDカードに入れたフォト(写真)をお楽しみいただけます。

“写真”を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1.　メディアメニューから「写真」をタッチします。

2.　「SDMMC」をタッチします。
　（さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。）

3.　お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示。

メディアメニュー（選択画面）

「写真」をタッチ

「SDMMC」をタッチ

見たい「写真」をタッチ

4.　操作画面でフォト（写真）の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		写真一覧画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90゜回転する。		写真画像を全画面にする。 （ダブルタッチで元画面に戻る）
	スライドショーにする。 （約5秒起きに写真が変わります） ダブルタッチで元の画面に戻ります。		

10. システム　設定

メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。

「次へ」をタッチにより次の画面に移ります。
「戻る」で元の画面にかわります。

設定のメニュー画面(1ページ目)

設定のメニュー画面(2ページ目)

10-1. ボリューム　設定

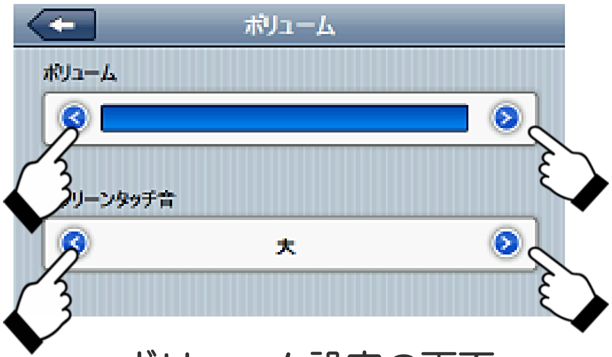
ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1. 「設定」内の「ボリューム　」をタッチする。
2. ボリュームの「　」をタッチして音量を調節する。
3. スクリーンタッチ音の「　」をタッチしてタッチ音を調整する。
（　OFF／小／大　）

1.「ボリューム」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3.「　」で調整



ボリューム設定の画面

10-2. バックライト　設定

バックライト設定で画面の明るさ、パワーセーブモードの設定ができます。
※パワーセーブモード：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消耗を減らします。
　　　　　　　　　　　バッテリー駆動時のみ動作します。

1. 「設定」内の｢バックライト　｣をタッチする。
2. バックライトの「 」をタッチして明るさを調節する。
3. パワーセーブモードの「 」をタッチしてパワーセーブモードに入る時間を調整する。
（常にON／10秒後にOFF／20秒後にOFF／30秒後にOFF／1分後にOFF／10分後にOFF）

1.「バックライト」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3.「 」で調整

バックライト設定の画面

※バッテリー駆動でお使いの際はパワーセーブモードをご利用いただくと長くお使いいただけます。

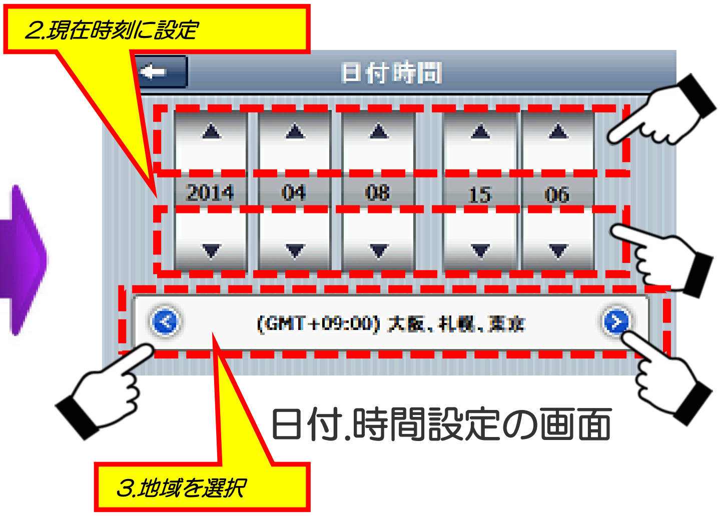
10-3. 日付・時間　設定

日付.時間の設定メニューで西暦、日付、時間、時間および地域の設定ができます。

1. 「設定」内の｢日付.時間　｣をタッチする。
2. 現在の西暦、付き、日、時間、分のタッチして設定する。
3. 地域の「 」をタッチして「（GMT+09:00）大阪、札幌、東京）に設定する。

1.「日付．時間」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)



日付.時間設定の画面

※日付．時間に関しては、ナビのGPS受信により自動設定されます。

10-4. 画面補正　設定

画面補正の設定で画面をタッチして位置の補正を行います。

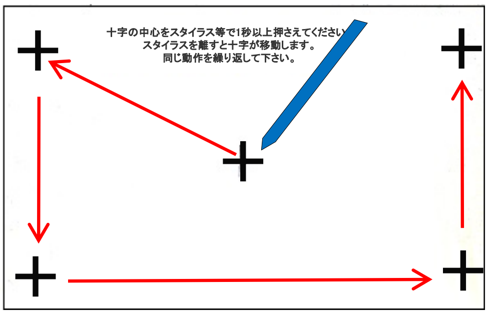
1．「設定」内の「画面補正 」をタッチする。
2．実行の確認の画面で「はい」をタッチする。
3．下記の通りに画面に従ってタッチ位置を補正する。
①画面の中央にある「＋」の中心をスタイラスペンなどでタッチしてください。
その際「＋」が動くまでタッチし続けてください。（1秒以上）
「＋」が左上に移動します。移動したらタッチを離して下さい。
②次に左上に移動した「＋」の中心をタッチし続けてください。
左下に移動したらタッチを離してください。
③同様に続けてください。「＋」は
中央→左上→左下→右下→右上
の順で移動し終了します。

1.「画面補正」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.[はい」をタッチ

3.「＋」を長押し
移動後、次の「＋」を再度長押し



※この画面（白画面）が表示された時は
上記操作を行ってください。

10-5　Bluetooth設定

付属のブルートゥースイヤホンとの接続設定をします。（ペアリング）

＜本体の設定＞

1．「設定」内の「Bluetooth 」をタッチする。

2．「Bluetooth」画面内の「設定」をタッチし設定画面を表示します。

3．をタッチしてPINコードを入力後、をタッチ
（付属ブルートゥースイヤホンの場合は「０００００」）

1.「Bluetooth」をタッチ

設定のメニュー画面（2ページ目）

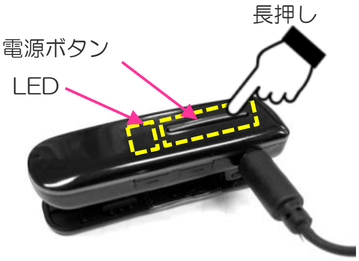
2.「設定」をタッチ

3.「」をタッチ

4.「PINコード」を入力後「」をタッチ

＜付属ブルートゥースイヤホンの設定＞

①ブルートゥースイヤホンの電源ボタンを長押し続ける。（約5秒以上）
LEDランプが赤く点滅し、その後赤/青交互に小さく点滅します。
このときイヤホンの音声はポ・ポ・ポ・ポン（上昇音）の後、
ポ・ポンの二音鳴ります。（電源オン）
（最後の二音まで押し続けてください。）
※電源オン状態は約150秒続き、放置すると電源オフになります。



①電源ボタンを長押しする。

②上記電源オン状態で、ブルートゥースの「検索」⇒をタッチ
ボタンをタッチすると検索を開始します。
「Ｈ１６０」の表記が出ましたら画面の「Ｈ１６０」をタッチ後
ボタンをタッチするとペアリング（接続）されます。

「検索」をタッチ

をタッチ

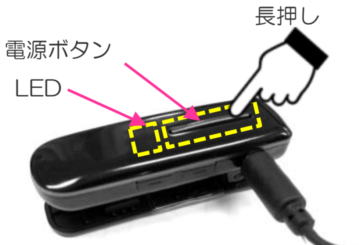
「H160」をタッチ後をタッチ

「H160」表記しペアリング完了

＜付属ブルートゥースイヤホンの接続を切る＞

①ブルートゥースイヤホンの電源ボタンを長押し続ける。（約5秒以上）
LEDランプが赤く点滅後、電源オフになります。
このときイヤホンの音声はポーン音の後にポ・ポ・ポ・ポン（下降音）が鳴り終わるまで押し続けてください。

②または、本体画面の「切断」をタッチしても接続は切れます。



①電源ボタンを長押しする。

②「H160」内の「切断」をタッチする

<付属ブルートゥースイヤホンの音量を調整する>

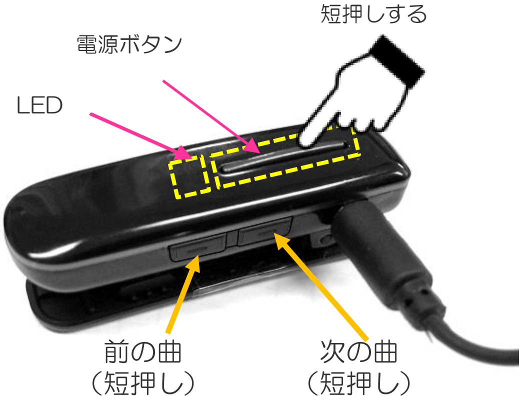
①ブルートゥースイヤホンの音量を調整するときは
イヤホン側面のボタンを押し続けてください。

音量大：押し続けると音量が徐々に大きくなります。
音量小：押し続けると音量が徐々に小さくなります。

<音楽を聴く>

「H160」内の「音楽」をタッチすると、「メディア」の「音楽」（14ページ）に
画面に変わり、音楽を聴くことができます。（音楽のみ）
①「音楽」をタッチし、曲を選びます。
②イヤホンのボタンを押すことにより下記操作ができます。
電源ボタンの短押し：一時停止／再生の切替え

①「H160」内の「音楽」をタッチ



①電源ボタンを長押しする。

<付属ブルートゥースイヤホンの充電>

付属の充電ケーブルにて、パソコンなどの
USB端子と接続して充電を行ってください。
またはUSB端子のある他の機器で充電してく
ださい。
充電時は、赤LEDが点灯します。

充電時間の目安：約2時間
連続使用時間の目安：約5時間
※使用状況、接続状況により変動します。

10-6.　ナビパス　設定

ナビゲーションを設定する機能です。
電源立ち上がり時にナビゲーションになる設定もできます。

<ナビゲーション機能自動起動>

1．「設定」内の「ナビパス設定 」をタッチする。
2．ナビゲーションソフト自動起動を「ON 」にする

。　1.「ナビパス設定」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

<ナビパス設定方法>

1．「 」とタッチし、その中のホルダー「ResidentFlash」「NaviOne]を順にタッチして「NaviOne.exe」をタッチする。

「ナビパス」設定は工場出荷時に設定済みですが、
ナビが立ち上がらない場合は、上記設定をしてください。

10-7.　言語　設定

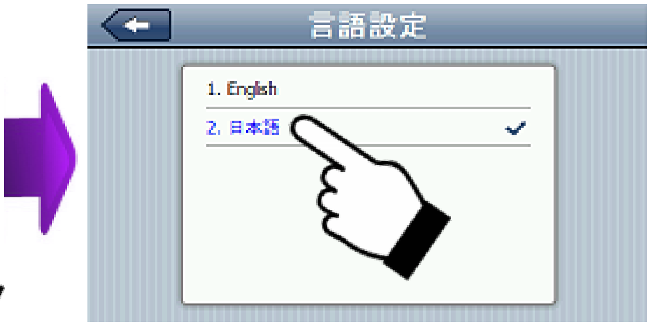
設定メニューの言語を日本語／英語に切換えることができます。
※ナビゲーションのメニューは日本語のみです。

1．「設定」内の「言語 」をタッチする。
2．言語設定を選ぶ。（初期設定は日本語です。）

1.「言語」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2．言語を選ぶ



10-8. 初期化設定

設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1．「設定」内の「初期化　」をタッチする。
2．「はい」をタッチすると初期化します。

1.「初期化」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)

2.「はい」をタッチ

10-9　GPS情報

「GPS情報」からGPSの受信状況が確認できます。

1．「設定」内の「GPS情報　」をタッチする。
2．ＧＰＳからの情報を確認することができます。

ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、
地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。
GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。

《注意》
①GPSは、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく
上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
③初めて測位するときや前回測位した場所から300km以上離れている場合は、
コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
（一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります）

1.「ＧＰＳ情報」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)

2.GPS情報確認できます

10-10　システム情報

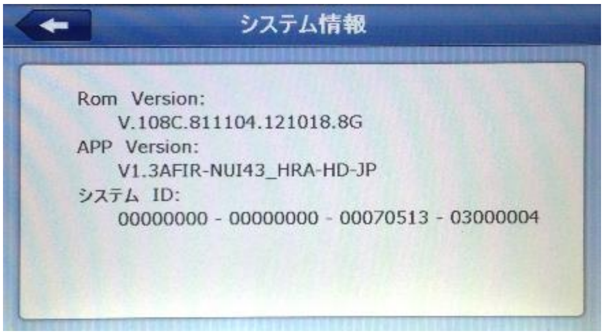
本製品のシステムリソースの確認する機能です。

1．「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2．システム情報が表示されます。

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

1.「システム情報」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)



システム情報

10-11　USB 設定

USB接続設定を確認する機能です。

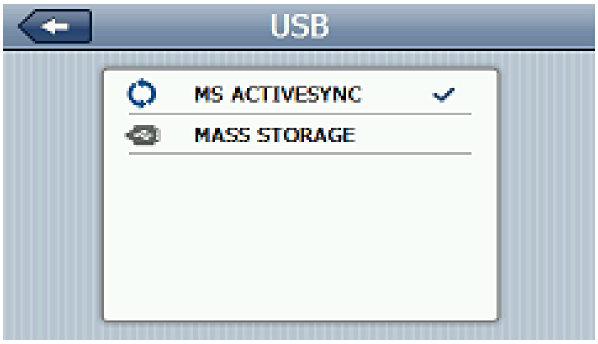
1．「設定」内の「USB」をタッチする。
2．「MASS STORAGE」となっていることを確認します。

この機能は、製造工程で使用する機能でお客様のご使用には関係ございません。
※工場出荷時に、「MASS STORAGE」に設定されております。
「MS ACTIVESYNC」には設定をしないでください。

1.「USB」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)

2.「MASS STORAGE」に設定



USB設定

11. ソフトウェア仕様

地図部門	全国道路地図	住友システムソリューション製 最新版全国拡張道路地図搭載
	昼夜画面切り替え	○（昼：夜手動/自動切替）
	縮尺切り替え	○１２段階（10m～50Km）
ルート	ルート検索機能	おすすめ・高速道路優先・一般道路優先 ・距離優先・複数ルート表示
	リルート機能	○（自動・手動）
	トンネルアシスト	○（ナビ走行時）
	スカイモード	○（４モード）
	右左折案内	○（大文字右左折表示）
	一方通行表示	○（地図尺度50m以下）
	到着予想時刻表示	○
	目的地までの距離表示	○
	オービス情報	○（音声警告・位置文字表示）
	高速道路表示	○（前後ＩＣ表示・スクロール機能付）
	高速入口ＣＧ画象	○
	ウォーキング表示	○
	地図表記言語	日本語
	ノースアップ／ヘッドアップ切替	○（北方向上/自車方向上）切替
	スマート IC 対応	○
	アプローチチャイム機能	○
	デモ走行機能	○
検索	電話番号検索	１０００万件（企業）
	住所検索	３６００万件
	施設名検索	５０万件
	周辺施設検索	５０万件
	コンビニ・ＧＳ優先表示	○
登録機能	検索地点履歴	１００ヶ所
	地点登録	１２００ヶ所
	自宅登録	○
ドライブメータ	表示内容	走行速度、平均速度、最高速度、 移動距離、走行時間、高度

＊仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

＊地図情報に関しては、全ての情報は網羅されていない場合があります。

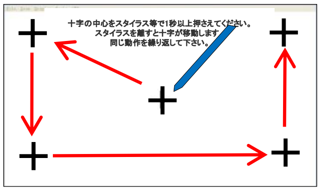
12.　ハードウェア仕様

<table>
<tr><td colspan="2">防水等級</td><td>ＩＰＸ５クラス</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｏ Ｓ</td><td>Microsoft Windows CE 6.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵フラッシュメモリ</td><td>8GB　（ナビゲーション地図ソフト入り）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイ</td><td>5インチ　タッチパネル付 ＴＦＴ液晶 （LEDバックライト）</td></tr>
<tr><td colspan="2">解 像 度</td><td>480ｘ272ピクセル</td></tr>
<tr><td colspan="2">メディアスロット</td><td>Micro ＳＤ カード(16GBまで対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td>内部音量調節機能付スピーカー内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">イヤホン端子</td><td>3.5mmステレオミニジャック</td></tr>
<tr><td colspan="2">サウンド／映像関連</td><td>音楽プレーヤー、フォトアルバム、動画プレーヤー</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリー</td><td>内蔵リチウムイオン充電式バッテリー
容量：1500mAh　　3.7Ｖ仕様</td></tr>
<tr><td colspan="2">電　　源</td><td>入力電圧：DC5V（USBタイプ入力端子）
（付属-DC電源接続コード使用時：DC12～24Ｖ対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">動作時間
（バッテリー使用時）</td><td>約5時間（セーブモード使用時）
約2時間（バックライト最大時）
充電時間：約4.5時間　（ご使用状況により変動します。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体寸法</td><td>約128(W)×88(H)×20 (D)mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体質量</td><td>約　220ｇ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ブルートゥースイヤホン</td><td>連続使用時間</td><td>約5時間　（使用状況により変動します。）</td></tr>
<tr><td>充電時間</td><td>約2時間　（使用状況、接続状況により変動します。）</td></tr>
<tr><td>通信距離</td><td>約10m　（使用環境により変動します。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">付　属　品</td><td>・ブルトゥース対応イヤホン
・台座
・バイクハンドル用マウント
・DC電源接続コード
・スタイラスペン（台座に付属）
・かんたん操作マニュアル／注意文＆保証書</td></tr>
</table>

＊仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

13. 困ったときには

修理を依頼する前に、もう一度次の項目をご確認ください。

●電源・バッテリーについて	・電源が入らない。	・バッテリー残量が少ない可能性があります。 十分充電してください。 (充電中はランプが点灯します。 ・ハードリセットを行い、再起動を確認してください。
	・バッテリーの持続時間が短い。	・バッテリーの寿命の可能性があります。 サポートセンターにご相談ください。
●本体について 設定に関しては取扱説明書の操作法を参照してください。	・画面が暗くて見えない。	・設定で暗くなっている可能性があります。 明るさを調整してください。
	・画面が消える／映らない。	・設定→バックライト→パワーセーブモードを「常にON」にしてください。
	・タッチパネルの反応が悪い。 ボタンが押せない。	・保護シートをはがしてください。 ・タッチポイントの位置がずれている可能性があります。 設定の画面補正で修正してください。
	・画面が真っ白になる。 (画面補正画面になる)	※画面補正画面の指示に従い「＋」をタッチし続けてください。 （「＋」を長押しして、移動したら次の「＋」を長押しします。） 
	・音声が出ない。	・音量ボリュームを確認してください。
●GPS受信について	・電源を入れた時、GPSの受信ができない。	・初めて使用する時や長時間使用していない時は、 コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。 屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。
	・電源OFFのまま長距離移動後GPSを受信しにくい。	・GPSの情報を再設定するため受信に時間がかかります。 一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	・GPS感度が悪く自車位置が捕らえにくい。	・本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。
	・GPSを受信できない。	・受信しやすい位置に移動して設置ください。
●ソフト動作について	・動作エラーが発生する。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・動作が停止又は不安定。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・正しい時刻が表示されない。	・メインメニューの設定で、時刻設定を行ってください。 ・ＧＰＳを受信してください。

14.　お問い合わせ先

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

発　売　元

機器に関する問い合わせ

株式会社　　カイホウジャパン

E-MAIL　：Info@kaihou.com

TEL　：042-631-5357

FAX　：042-631-5359

営業時間　：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

ナビソフトの操作方法

ソフトに関する問い合わせ

サポートページ　：http://www.mapnet.co.jp/kaihou

E-MAIL　：mapque@mapnet.co.jp

TEL　：03-3516-6080

FAX　：03-3516-6387

営業時間　：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

※地図内容、ナビモード時の動作に関しては、
こちらへお問い合わせください。

株式会社　カイホウジャパン
〒192-0906
東京都八王子市北野町598-11
TEL:042-631-5357
FAX:042-631-5359
http://www.kaihou.com /

5インチバイク用ナビゲーション

TNK-BB5000

操作説明書

Ver　1.0.0

- この取説はナビゲーション専用の操作説明書です。
- 製品本体の取扱説明書もお読みいただき内容を御理解願います。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に
  保管してくだ さい。

目　次

1．はじめに ---------- 1
2．安全上のご注意 ---------- 2
3．ナビゲーションの使い方 ---------- 3
3-1. ナビゲーションの起動と終了 ---------- 4
3-2. 地図画面の説明 ---------- 5
3-3. 現在地の表示 ---------- 6
3-4. 受信状況の確認 ---------- 7
3-5. 地図画面の操作 ---------- 8
3-6. 地図画面から他の画面への移動 ---------- 12
3-7. ナビ走行 ---------- 13
3-8. ルート検索 ---------- 16
3-9. デモ走行 ---------- 17
3-10.ナビ走行中の画面 ---------- 20
3-11.周辺施設検索 ---------- 23
3-12.地点登録 ---------- 24
3-13.自宅登録・自宅へ戻る ---------- 26
3-14.ナビメニュー ---------- 28
3-15.検索モード ---------- 29
3-15-1.住所検索 ---------- 30
3-15-2.施設検索 ---------- 32
3-15-3.電話番号／マップコード検索 ---------- 34
3-15-4.登録地点 ---------- 36
3-15-5.目的地履歴 ---------- 39
3-16.おでかけモード ---------- 40
3-17.設定 ---------- 42
3-18.入力パネルの使い方 ---------- 45
3-19.ウォーキングナビ ---------- 46
3-20.よくある質問 ---------- 49
4.制限事項 ---------- 50
5.GPSの基礎知識 ---------- 51
6.　お問い合わせ先 ---------- 52

1　はじめに

この度は、当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。
本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますＧＰＳによるナビゲーションシステムは、
衛星よりの位置情報を捕捉することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。
従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と
目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なります
のでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。

＜＜GPSナビゲーションの特性＞＞
①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合もあります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を捕捉する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
③電源をOFFする際、スリープモードと電源ＯＦＦ（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対に
おやめください。
⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなる
ため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと
呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの
受信は速くなります。

2.　安全上のご注意

●ご使用の注意

・歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し
直視しないでください。
・ルート案内中でも、常に実際の交通規則、道路状況に従ってください。
・一方通行表示についても実際の交通規制標識・標示などを優先してください。

●その他のご注意

・ＧＰＳ電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）
ではナビゲーション機能は利用できません。また悪天候、車内 の無線機器
、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もありま。
・ＧＰＳ衛星は、米国国防総省により運用されていますが、ＧＰＳ衛星の精度
低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にカー電源を接続することを
お薦めします。
・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
・初回の充電は電源ＯＦＦにして充電し、高温、高湿度の場所での充電は
行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも
２週間に１度など定期的な充電をお薦めします。
・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる
場合がありますのでご注意ください。
・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性が
あります。登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお薦めします。

●免責事項

・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、
適切性など何ら法的保障をするものではありません。
・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、
損害には一切責任を負いかねます。
・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、
お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

**ナビプログラムや取扱説明書、パッケージ等は予告無く変更する場合が
あります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。**

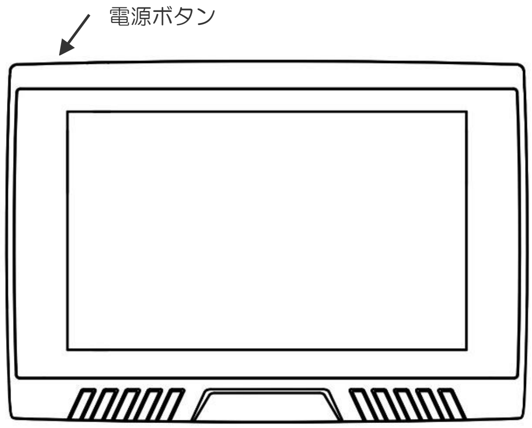
3. ナビゲーションの使い方

本製品のナビゲーション地図ソフトは内蔵メモリーに搭載されております。
電源ボタンがONされていることを確認して、メインメニューから
「ナビゲーション」ボタンを画面タッチします。

①バイクに取付けているときは、本体がしっかり取りつき、電源コードが正しく配線されていることを確認してください。取付、配線方法は本体取説または簡単操作マニュアル（取付／ブルートゥース設定）をご確認ください。

②電源ボタンを軽く長押しすると、
電源が入ります。
電源を切る時は、再度電源ボタンを
長押しします。

③操作は、各メニューを画面タッチ
することにより動作します。



（注意）ダブルタッチを頻繁に繰り返しますと、ＣＰＵに負荷がかかり
システムエラーが発生する場合があります。
（システムエラーからの回復は、本体のリセットボタンで行ってください）

ナビプログラムやマニュアル、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

3-1．ナビゲーションの起動と終了

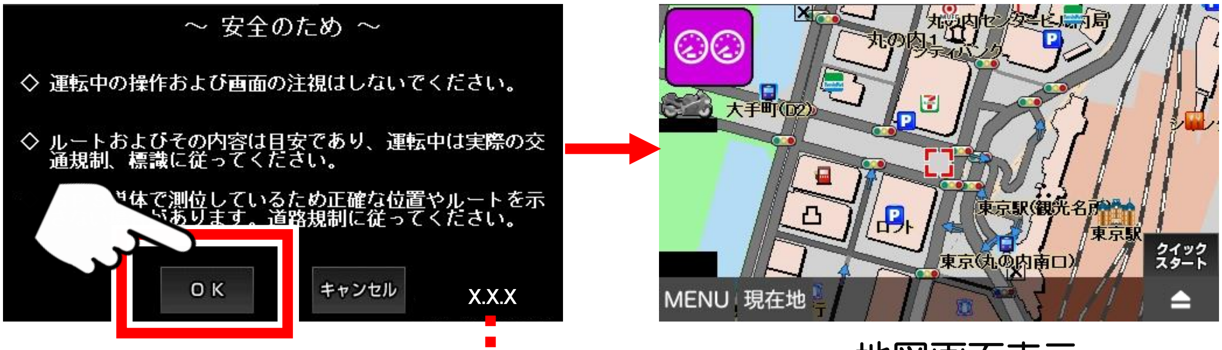
ナビゲーションの起動と終了の方法を解説します。

●ナビゲーションの起動

① メインメニューの「地図」ボタンをタッチします。

ナビゲーションの起動ボタン

② 注意事項が記載された画面が表示されますので内容をよくお読みになり、「OK」ボタンをタッチすると地図画面が表示されます。



OKボタン　バージョン番号　地図画面表示

●ナビゲーションの終了

① 地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチしメニュー画面を表示します。

② メニューの右下の「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻りナビゲーション機能は終了します。

MENUボタン　終了ボタン　メインメニュー画面

地図画面の各機能と見方を解説します。

●地図画面の各ボタンの名称

下記マークが表示されていない場合は画面のどこかをタッチしてください。

<勾配状態 について>

走行中の道路の傾斜状態の目安を地図上に表示します。

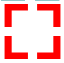
・走行中の道路が上り坂状態　・走行中の道路が水平状態　・走行中の道路が下り坂状態

３秒前のGPS情報と比較し、勾配を上り・下り・平坦の3パターンで表示します。

※本計測はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。
天気、周囲の建物等の受信環境、 GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり
実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。
トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、計測表示はされません。

●地図の中心マークの違いについて

：十字あり緑色のマーク。GPSを受信してない状態です。


：十字なし赤色のマーク。GPSを受信中です。
地図が現在地を表示していないときは、衛星を捕捉中です。
しばらく待つと、地図が現在地に移動します。

：自車のマーク。GPSを受信中で、方向も取得出来ている状態。
設定モードから矢印マークを変更することが出来ます。

＜トンネルアシスト機能について＞

トンネルに入ってGPSが受信できなくなったとき、トンネル進入時の速度を保った状態で、自車の位置が移動し続けます。
ナビ走行中に限って動作する機能で、作動中は本来の位置ではないため、自車のマークの色を変更して区別しています。（矢印→グレー、それ以外→水色）
（ナビ走行(ルート設定）しているときに、トンネルアシスト機能は作動します。）

3-3．現在地の表示

GPSを有効（衛星を捕捉）にして、現在地を表示する方法を解説します。

① 地図画面の左下の「現在地」ボタンをタッチします。

現在地ボタン

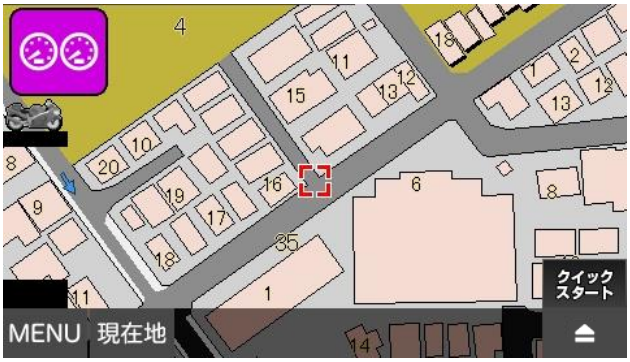
現在地の表示は、必ず屋外の見晴らしの良い場所で行ってください。
室内ですと、GPSの電波を受信出来ません。

② 衛星の捕捉が始まります。

衛星の捕捉中を示す画面が中央に現れます。この状態でしばらく待ちますと、現在地へ地図が移動します。

「中止」ボタンをタッチすると、衛星の捕捉を中止します。

③ 衛星が捕捉されると現在地へ地図が移動します。



（注）現在地の表示は、お買い上げ時、または長時間使用していなかった時に行いますと、数十分かかる場合があります。
通常使用時でも、**GPS**の電波の受信状況により、数分かかる場合もあります。
予めご了承下さい。

●時刻合わせについて

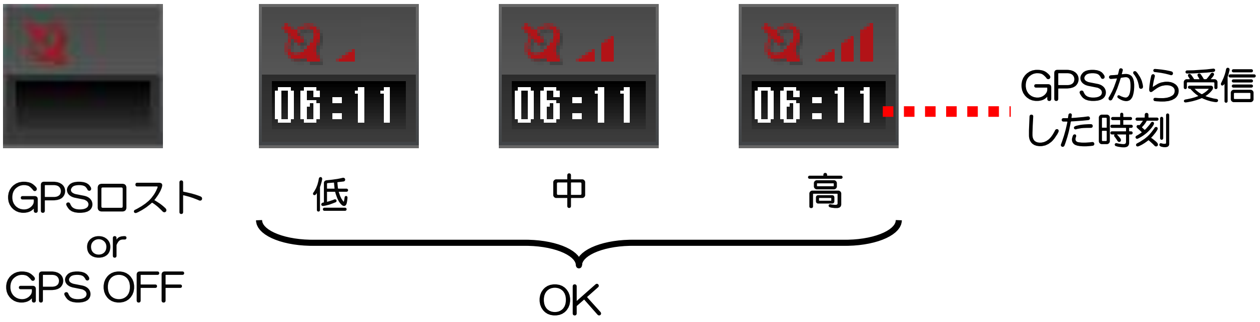
時刻はGPSの電波に含まれている時刻を受信したとき 「衛星配置図」の中に表示されます。お客様自身で、時刻を合わせる必要はありません。

3-4．受信状況の確認

GPS受信状況と衛星配置図の表示方法を解説します。

●地図画面の衛星配置図でGPSの受信状況を確認

（注）「衛星配置図」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



実際の状況が反映されて表示されるまで、多少のタイムラグがあります。

●「衛星配置図」 ボタンをタッチして衛星配置図を確認

「衛星配置図」 ボタン

衛星配置図画面

黄色や赤色のマークが少ないときは、GPSの受信状況がよくないことを表しています。受信する場所を変えるなどしてみて下さい。
「現在地」ボタンか、「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

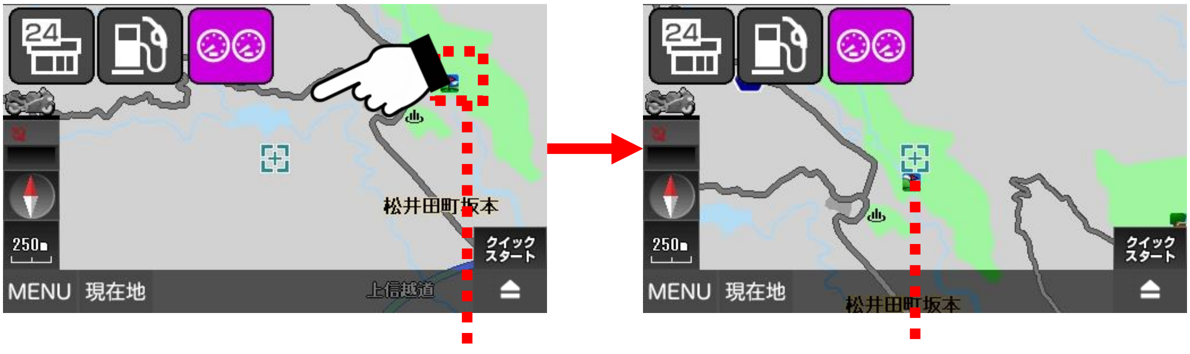
衛星マークの色	衛星受信状況
黄色	○
赤色	△
灰色	×（衛星の位置情報のみ受信）

3-5. 地図画面の操作

地図の移動、拡大縮小、ビュー変更の方法を解説します。

●地図の移動

地図の上をタッチすると、タッチした場所が中心になるように地図が移動します。



ここをタッチ　タッチした場所が中心にきます

（注）タッチパネル上で指で滑らせて、地図移動する形式ではありません。

●地図の拡大縮小

① 地図画面の左の「縮尺変更」ボタンをタッチします。

（注）「縮尺変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「縮尺変更」ボタン
中の数字は現在の尺度を表しています。

② 縮尺パネルから表示したい縮尺をタッチします。

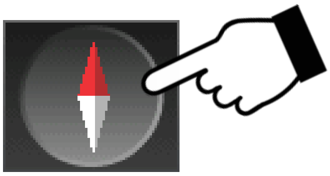
縮尺パネルは一定時間経つと、自動的に隠れます。

●地図表示の変更

地図の表示方法を「平面（2種類）」、「立体」表示に切り替えます。

（注）「地図表示変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

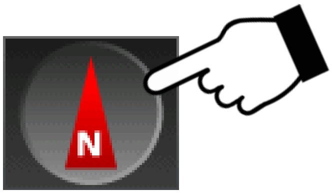
「地図表示変更」ボタンをタッチする毎、地図の表示が切り替わります。



平面（ヘッドアップ）

自車の進行方向が上に固定
され、地図が回転します。
赤い針が指す方向が北。

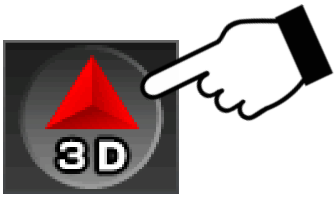
平面（ヘッドアップ）



平面（ノースアップ）

地図の北方向が上に固定
され、自車が回転します。

平面（ノースアップ）



立体

平面（ヘッドアップ）の
立体表示です。
空から見下ろしたように
見える3D的な地図表示。

立体

平面（ヘッドアップ）表示へ戻る

●ガソリンスタンドの表示

「ガソリンスタンド表示」ボタンをタッチすると、地図上にガソリンスタンドのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「ガソリンスタンド表示」ボタン

●コンビニの表示

「コンビニ表示」ボタンをタッチすると、地図上にコンビニのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

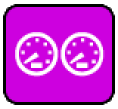
（注）「コンビニ表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「コンビニ表示」ボタン

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンと「コンビニ表示」ボタンは、縮尺が「2.5km」以上のときは表示されません。
（ガソリンスタンド、コンビニのデータは地図作成時のものです。）

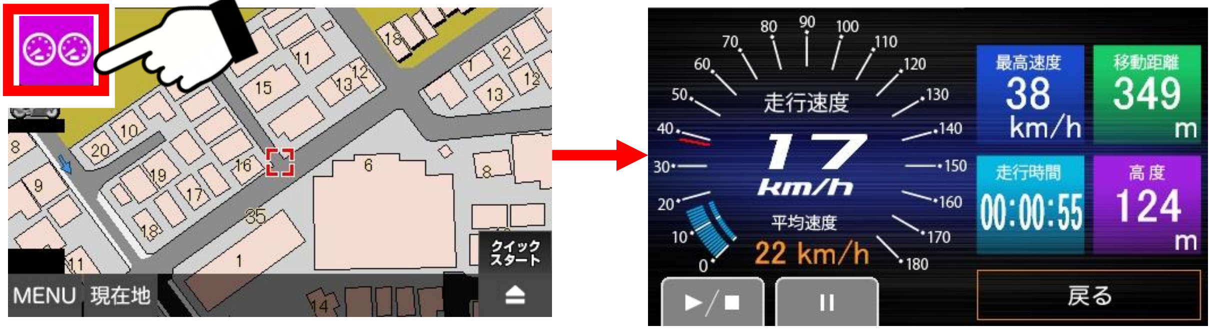
●ドライブメーターの表示

「ドライブメーター表示」ボタンをタッチすると、現時点での「走行速度・平均速度・最高速度・移動距離・走行時間・高度」が表示されます。

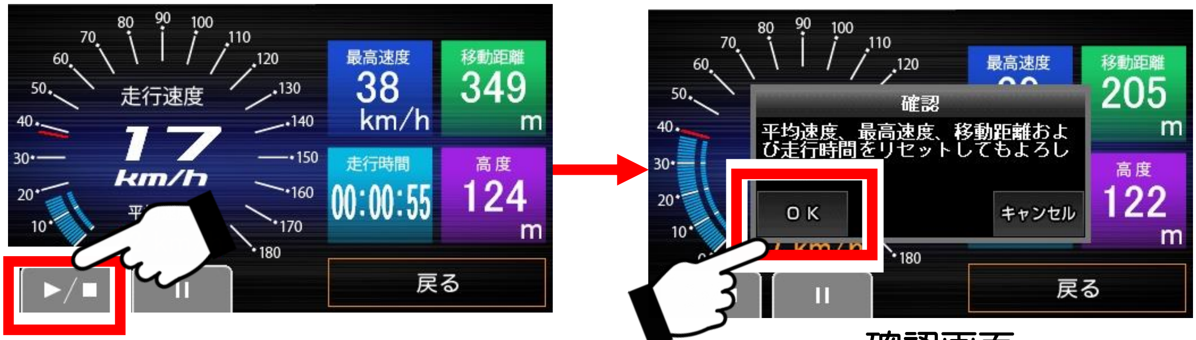


「ドライブメーター表示」ボタン

ドライブメーター画面



左下にある「 ▶/■ 」（履歴リセット）ボタンをタッチすると、「平均速度・最高速度・移動距離・走行時間」をリセットします。確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。



確認画面

※本計測はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。
天気、周囲の建物等の受信環境、 GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり
実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。
トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、計測表示はされません。

3-6. 地図画面から他の画面への移動

地図画面からナビメニュー画面へ移動する方法を解説します。

●ナビメニュー画面へ移動する

地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニュー画面へ移動します。

「MENU」ボタン

地図画面

ナビメニュー画面

（注）地図画面の道路が途切れている場合について

地図を縮小していくと、画面に表示するエリアが大きくなり、情報量が増加していきます。それによって処理が遅くなることを防ぐ為に、地図上に表示する情報量を減らすことで、対応しています。
地図上で、道路が途中でなくなっている場合、実際にはその先も道路は存在しており、地図を拡大していくことで表示されます。

縮尺250m

縮尺100m

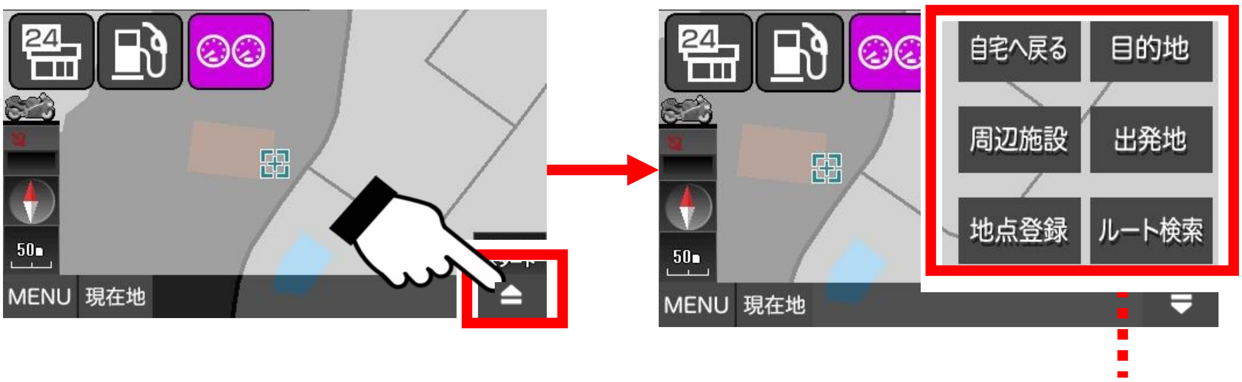
3-7. ナビ走行

実際にナビを行う方法を解説します。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

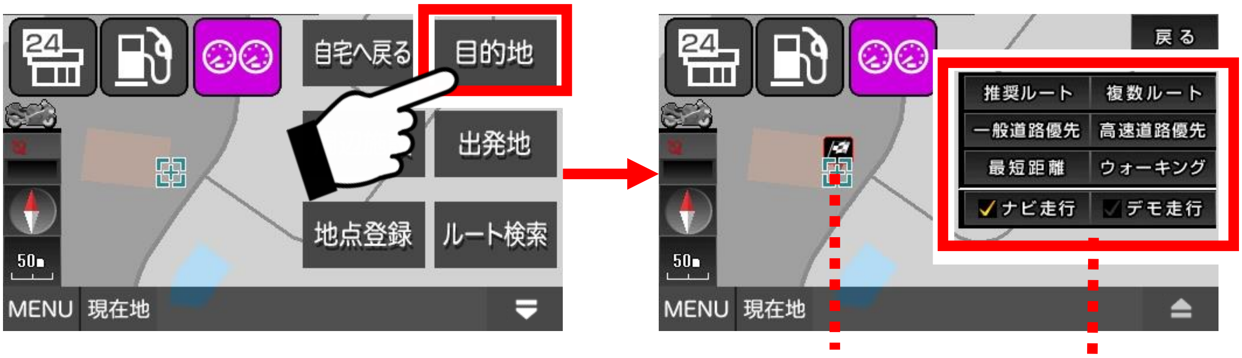
行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



ナビ用パネル

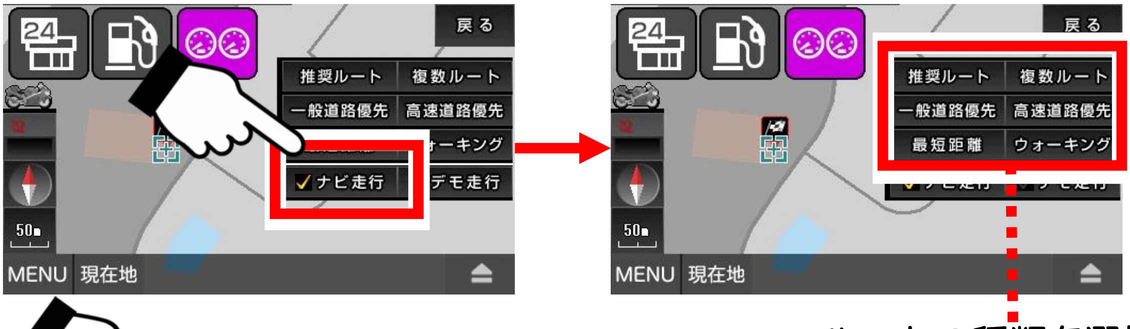
③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

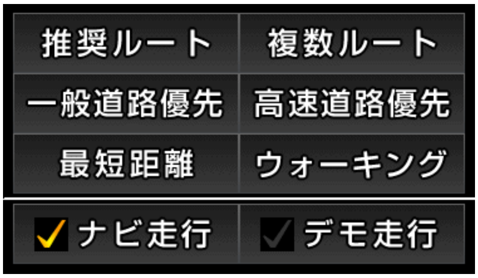
④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチし、チェックを付けて
ルートの種類を選んでタッチします。



ルートの種類を選択

（注）目的地を設定済みならば、ナビ用パネル
「ルート検索」ボタンをタッチすれば
ルート検索パネル画面になります。

●ルート検索パネルについて



ルートの種類

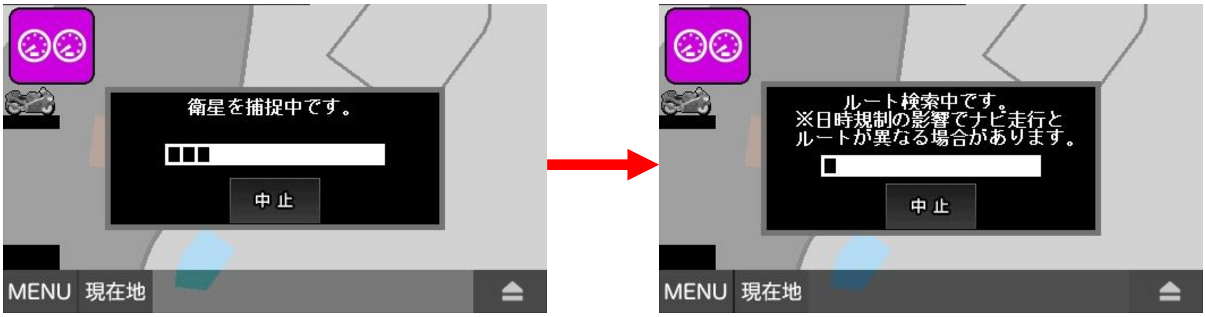
実際の「ナビ走行」か、
テストの「デモ走行」か選択

【ルートの種類について】

- 推奨ルート　：ナビが自動的に最適なルートを選択します。
- 一般道路優先：有料道路を避けて、一般道路を優先したルートを選択します。ただし目的地までの道のりが長距離のときは、有料道路を使う場合があります。
- 高速道路優先：有料道路を優先したルートを選択します。
- 最短距離　：道路の大小に関わらず、目的地までの最短距離のルートを選択します。
- 複数ルート　：一般道路優先、高速道路優先、最短距離のルートを一度に表示します。
- ウォーキング：徒歩走行にあったルートを選択します。

※「ウォーキング」のときは音声ガイドは流れません。

⑤ ルートの種類を選択すると現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

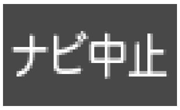
ルート（水色）

ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

●ルートの距離と所要時間

走行速度を設定して計算し直す機能はありません。
道路の道幅・制限速度・交差点数などを考慮して、目安として計算していますので、実際とは異なる場合がございます。予めご了承下さい。

●ナビ走行の中止



ナビ走行中、左下の「現在地」ボタンが「ナビ中止」ボタンに変わります。これをタッチすることで、ナビ走行を中止することができます。

●クイックスタート

右下の「クイックスタート」ボタンをタッチすると、現在の地図の中心地が目的地に設定されて、ルート検索パネル画面が表示されます。

3-8. ルート検索

複数ルートとルート検索時の注意点について解説します。

●複数ルートについて

複数ルートを選ぶと、高速道路優先、一般道路優先、最短距離の３つのルートが合わせて表示します。
左上のボタンをタッチして、好みのルートを選んでください。
ルートによっては、３つのルートが同じものになる場合もあります。

●ルート検索について

※ルート検索に失敗した場合は、現在地を表示できるか確認して下さい。
それでも失敗する場合は、目的地をずらして再度、ルート検索を行ってください。

※ナビ走行では、細街路はルート検索に含まれません。
目的地が細街路にある場合は、目的地から離れた場所でルート案内が終了しますので、その際は目的地方位線を目安に、目的地まで進んでください。

●ルート再検索（リルート）機能

ルートからある程度外れると、リルート検索を開始します。
ただし、車の速度やGPSの受信状況により、リルート検索に時間がかかることがあります。
また、右左折の方向案内が交錯することがありますので、ルートが安定してからの案内に従ってください。

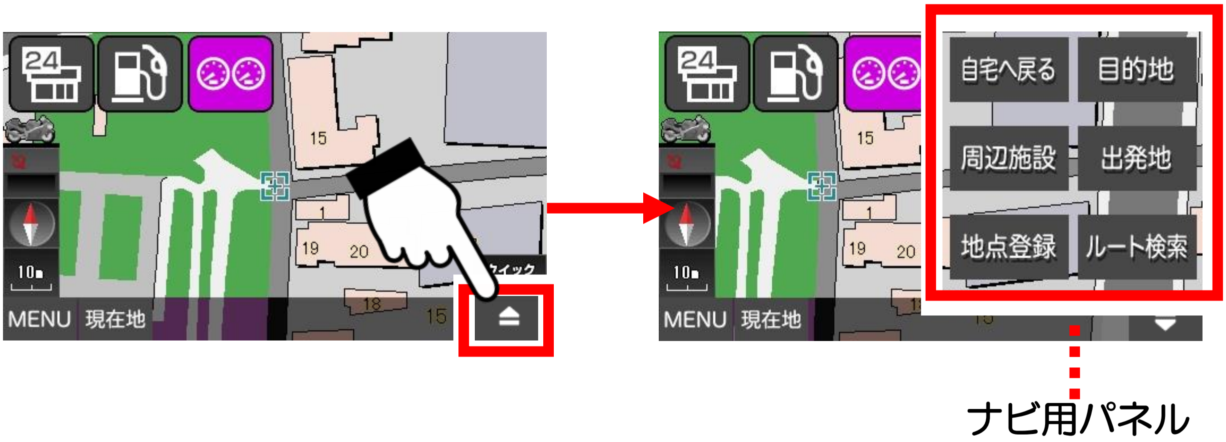
3-9. デモ走行

ナビ走行のテストを行うデモ走行の方法を解説します。

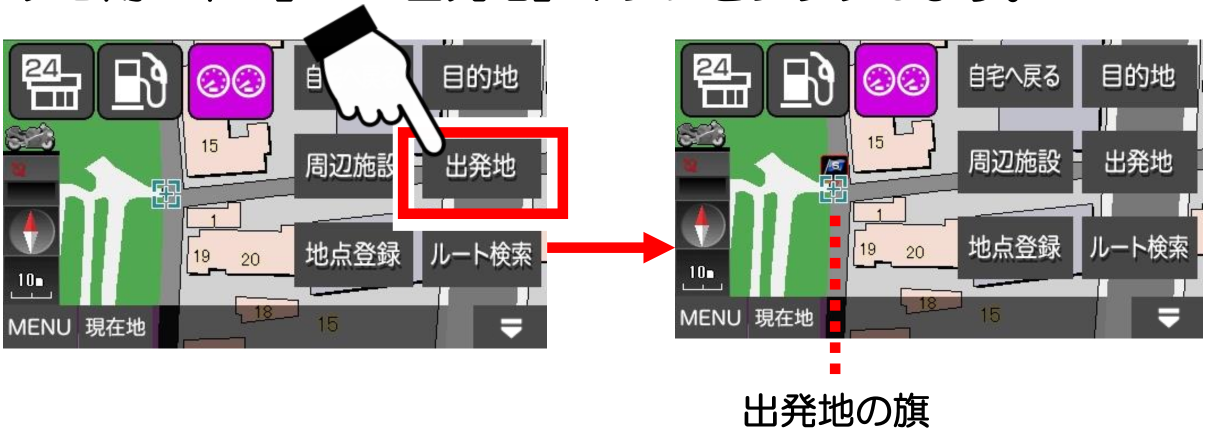
① 地図を移動して出発したい場所を中心にします。

ナビ走行のときは、出発地は自動的に現在地となりますが、デモ走行では、出発地も自由に設定することができます。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



③「ナビ用パネル」の「出発地」ボタンをタッチします。

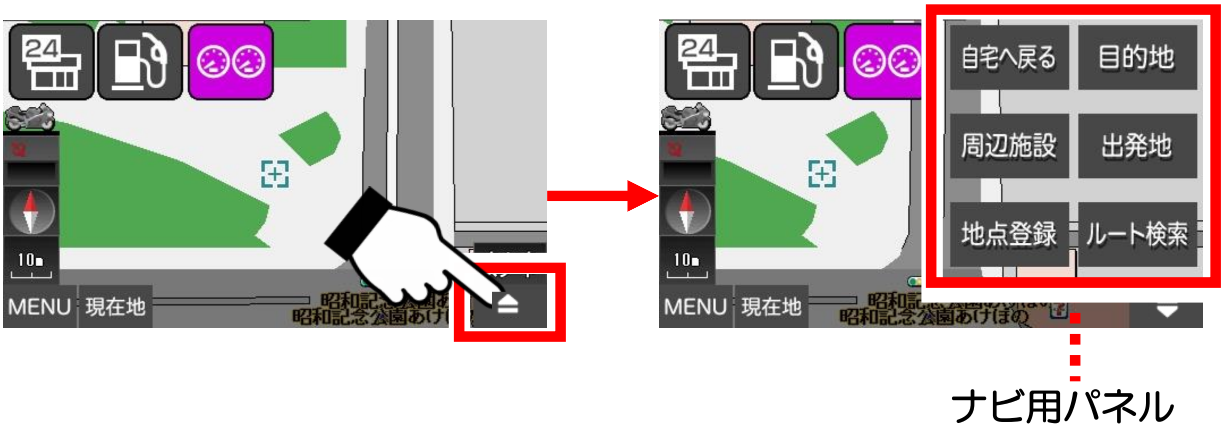


出発地として設定され、青い旗が立ちます。

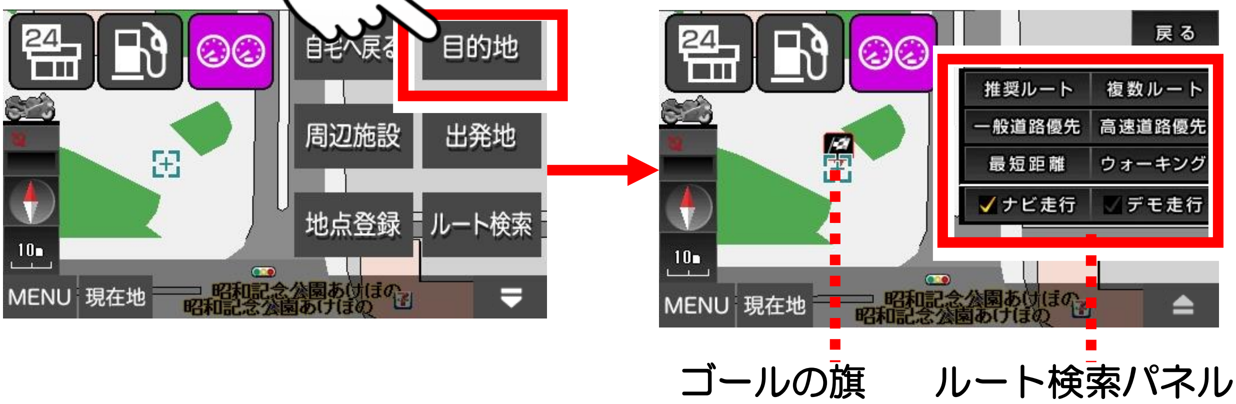
④ 続いて、地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

⑤ 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



⑥「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

⑦ ルート検索パネルの「デモ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。

ルートの種類を選択

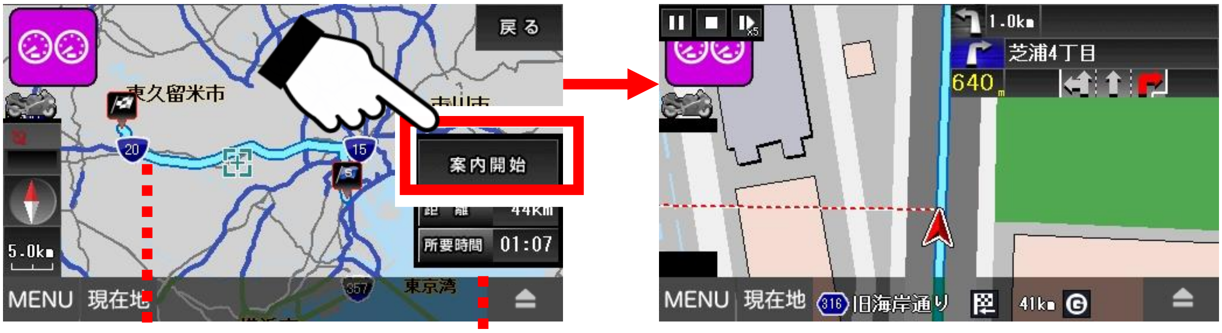
（注）目的地を設定済みならば、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすれば
ルート検索パネル画面になります。

⑧ 出発地から目的地までのルート検索が始まります。

ルート検索には多少の時間がかかります。

（注）デモ走行で、ルート検索が失敗するときは、出発地と目的地の両方とも設定してあるか確認してください。

⑨ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、自動的にデモ走行が再生されます。



ルート（水色）　ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

3-10. ナビ走行中の画面

ナビ走行中の画面について解説します。

●ナビ走行中の画面の説明

その次に交差点があれば、その情報

次の交差点情報

自車の位置と向きを表す矢印

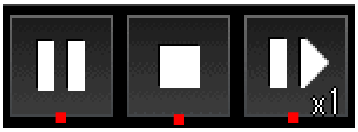
道路名　　目的地までの距離（あくまで目安とお考え下さい）

デモ走行の時のみ表示、使用可

（注）道路名は、走行中の道路名データが存在するときのみ表示が出ます。
主要道路であっても表示がない場合もあります。予めご了承ください。

●デモ走行中の操作ボタン

デモ走行のときのみ、左上に操作ボタンが表示されます。



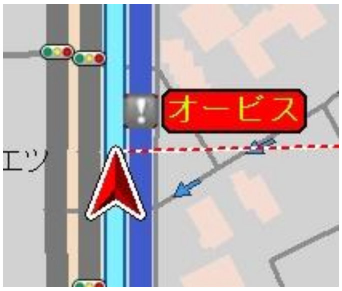
一時停止　停止　早送り（5段階で変化）

早送りボタンをタッチすると、車の移動が5段階で変化します。
「1倍速→2倍速→3倍速→4倍速→5倍速→1倍速に戻る」

●出発地・目的地の旗の削除について

出発地と目的地の旗は、別の場所に設定するとそちらに移動します。また、ナビを終了させても出発地と目的地の旗は保存されます。
出発地と目的地の旗の削除は、「設定」の「初期化」にあります「出発地／目的地を削除」で行うことができます。

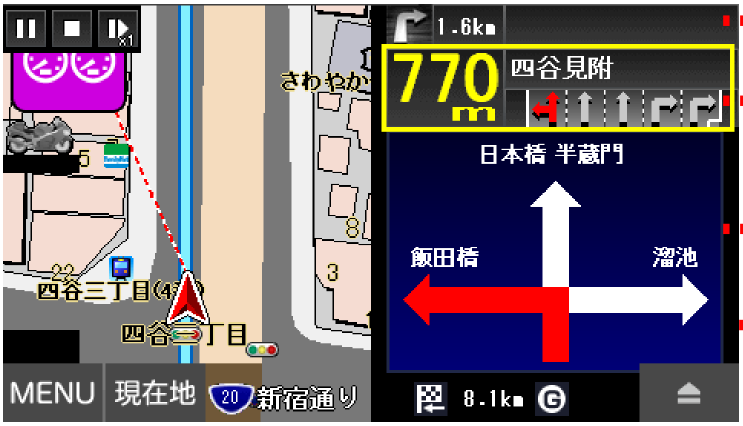
●オービスについての注意点



本ナビにおけるオービス機能は、電波を検知して知らせるのではなく、地図のデータとして埋め込まれていて、それを案内しています。
よって、オービスが実際は存在するのに、案内が行われない場合や既に撤去されている場合もあります。
また、反対車線のオービスに反応して案内することもございます。
音声で、「制限速度に注意して～」と案内しますが、交差点の音声案内が優先されて、その音声が流れない場合もございます。予めご了承下さい。

●交差点案内

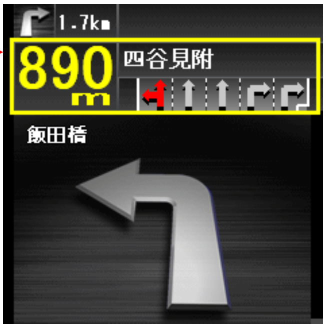
ナビ走行中、次の交差点までの距離と車線の情報が表示されます。
交差点付近では拡大地図と分岐案内が表示されます。
音声案内は、直前と300m、500m手前で行われます。
次の交差点までの距離枠と、地図上の右左折地点が黄色で点滅します。



その次の交差点情報

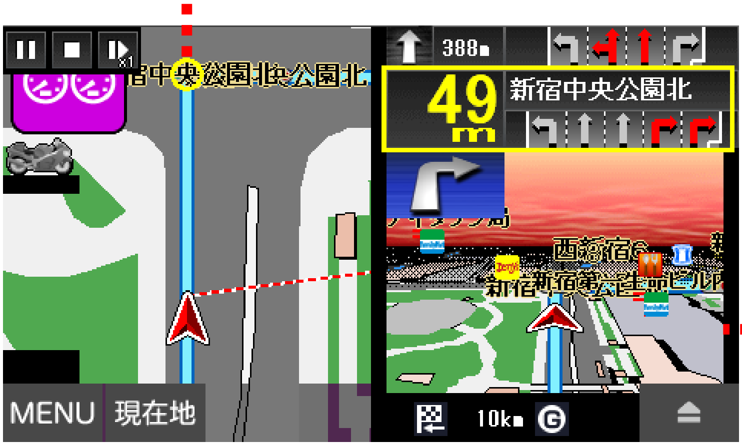
次の交差点情報
（黄色で点滅）

方面案内看板



設定モードの「基本設定」において、交差点案内を「矢印」にしている場合

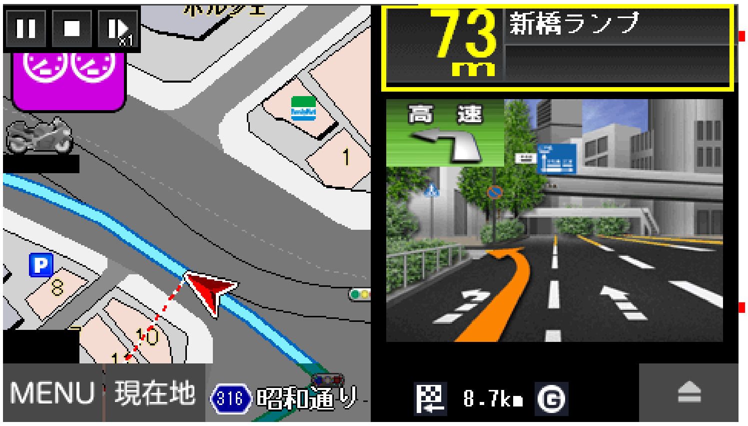
右左折地点が黄色の円で点滅



拡大表示

●高速道路案内

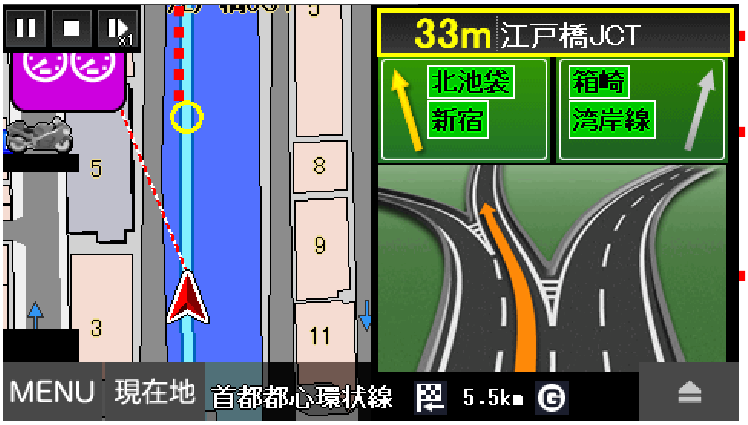
ナビ走行中、高速道路を利用する場合は、
入り口案内、分岐案内、施設案内が表示されます。
音声案内は、直前と300m、500m、1km、3km手前で行われます。
高速入口・次の分岐地点・次の高速施設までの距離枠と、地図上の高速施設・分岐地点が黄色で点滅します。



高速入口の
・名称
・距離
・進入方向
（黄色で点滅）

高速入口イメージ

高速施設・分岐地点が黄色の円で点滅



分岐までの距離・名称
（黄色で点滅）

分岐案内看板

分岐イメージ

ひとつ先の施設へ

施設案内
・種類と名称
・距離
・予想通過時間
（次の施設を黄色で点滅）

施設案内表示を元に戻す

ひとつ前の施設へ

周辺施設の検索について解説します。

周辺施設のボタンをタッチすると、地図の中心から距離の近い順に10km圏内で500件までの施設を検索することが出来ます。

① 地図画面上で検索したい場所を中心にして「周辺施設」ボタンをタッチします。

② 検索画面からジャンルを選び、リストから施設名をタッチします。

リスト移動

地図の中心からの距離(m)と方向

施設の詳細情報

③ 選んだ施設がある地図へ移動します。

吹き出し

※周辺施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-12. 地点登録

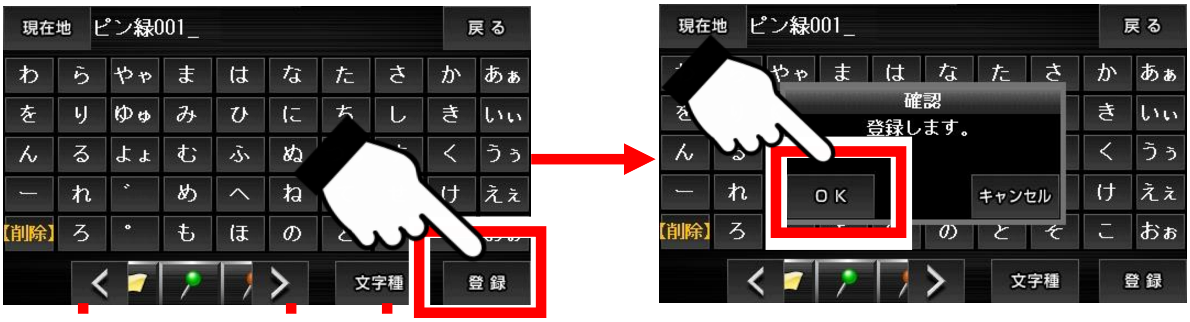
地点登録の方法について解説します。

地図の場所を記録しておくことが出来ます。記録しておけば、ナビメニューの登録地点から、その場所へすぐに移動することが可能になります。

① 登録したい場所を中心にして「地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面のアイコンと名前を編集して、「登録」ボタンをタッチします。確認画面で「OK」ボタンをタッチします。

- アイコン変更用左右ボタンでお好みのアイコンを選ぶ。
- 文字種ボタンで文字の種類を選ぶ。
- 【削除】ボタン、文字ボタンを使用して文字を入力する。



アイコン変更用
左右送りボタン

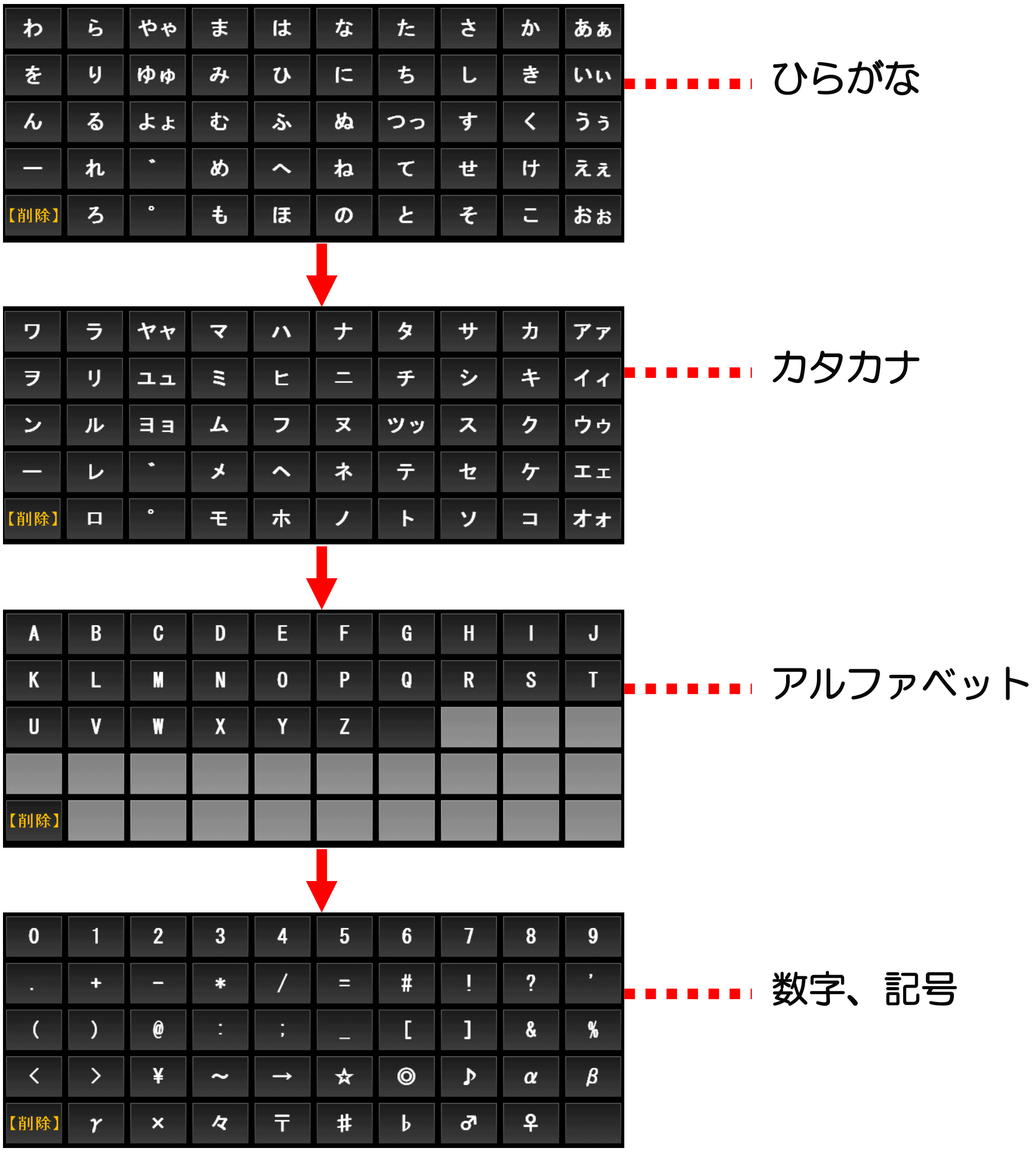
文字種変更

③ 登録が完了すると、地図に移動してアイコンと名前の吹き出しが地図に表示されます。

アイコンと吹き出し

●文字種の切り替えについて

地点登録の登録画面の下にある「文字種」ボタンをタッチするたびに、
文字種が切り替わります。



（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧下さい。

※登録地点の確認や地図への移動、編集や削除については、ナビメニューの「登録地点」解説ページをご覧下さい。

3-13. 自宅の登録・自宅へ戻る

自宅へ戻る機能について解説します。

自宅を登録しておくと、すばやく自宅までのルート検索が行えます。
登録方法は地点登録と同じで、アイコンに自宅専用を選ぶだけです。

●自宅を登録する

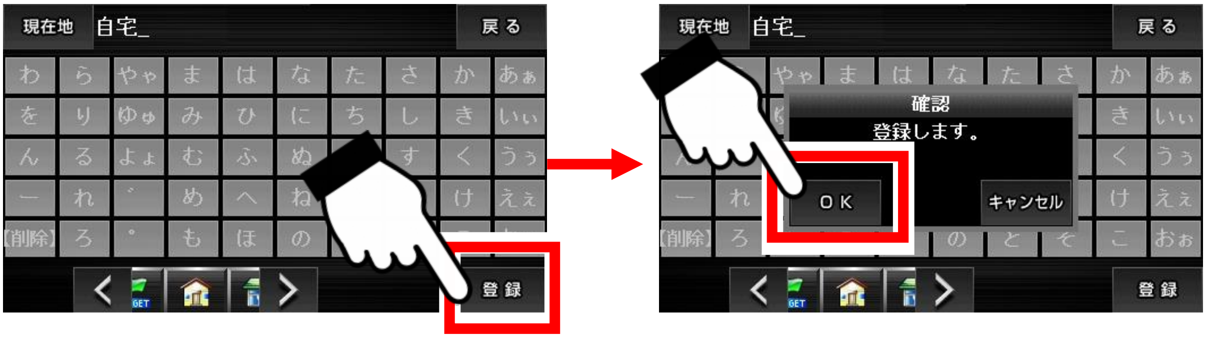
① 自宅の場所を中心にして画面の右にある[地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面の下にあるアイコンをひとつ左に移動させて「赤い屋根の家」に変えます。

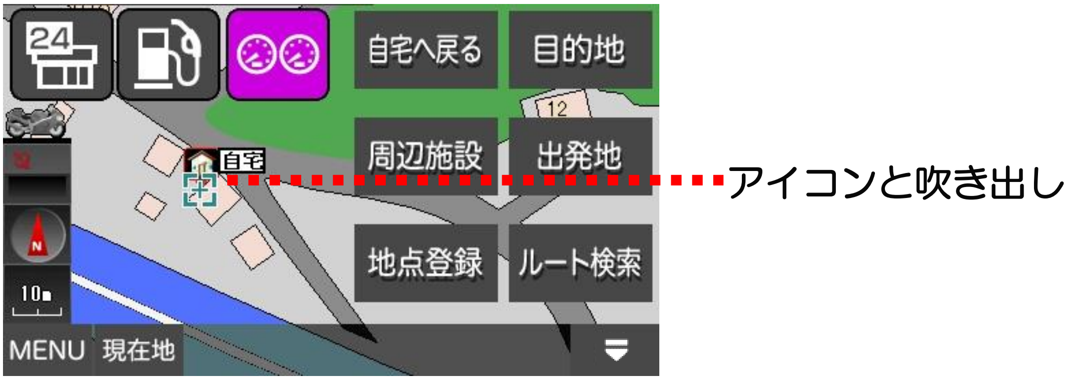
赤い屋根の家

※登録名は「自宅」に固定されて、入力パネルが無効になります。

③「登録」ボタンで確認画面を出し、「OK」ボタンをタッチします。

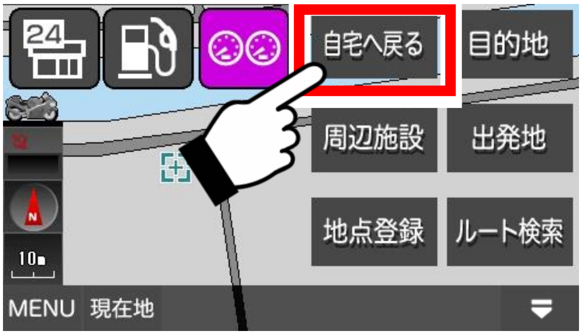


④ 登録が完了すると、地図に移動して、赤い屋根の家アイコンと「自宅」の吹き出しが地図に表示されます。



●自宅に戻る

①「ナビ用パネル」の「自宅へ戻る」ボタンをタッチします。



（注）自宅が登録されていないと、ルート検索できません。

② 自宅で登録した場所が自動的に目的地になり、ルート検索パネルが表示されます。

●自宅の削除について

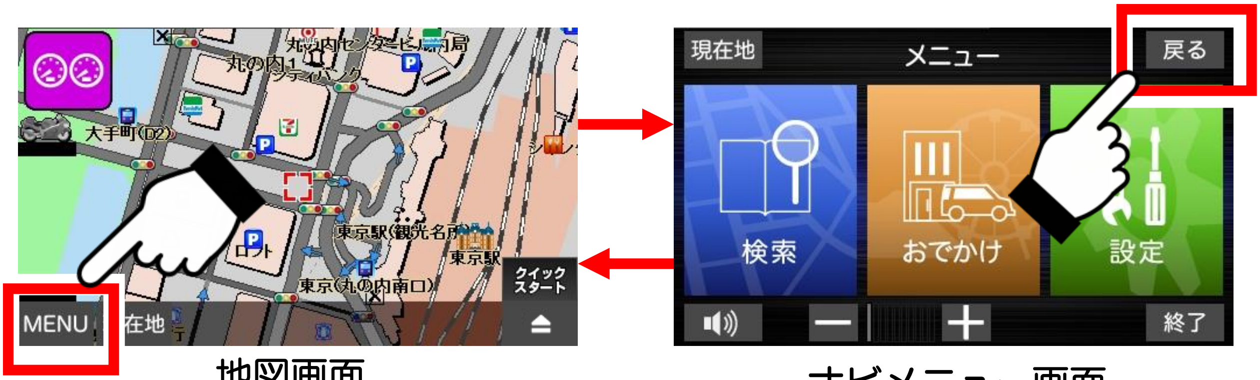
地点登録した自宅を削除することは出来ません。別の場所に設定すると、そちらに自宅が移動します。必ず地図上にひとつ存在することになります。

※ただし、設定画面で「出荷状態に戻す」を行うと、自宅も削除されます。

ナビメニューの機能について解説します。

●ナビメニューと地図画面の切り替え

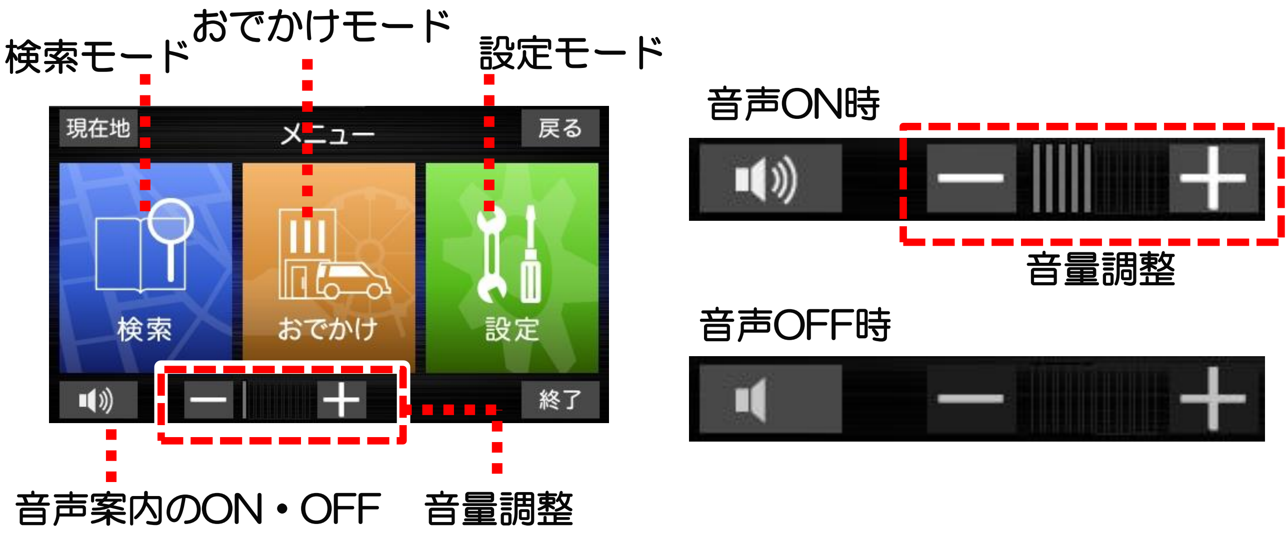
地図画面の左下にある「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニューになります。またナビメニューの右上の「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。



地図画面　　ナビメニュー画面

●ナビメニュー画面

「検索」「おでかけ」「設定」ボタンをタッチすると、それぞれの操作画面へ移動します。
「音声ON」ボタンをタッチすると、ナビ走行中の音声案内のONとOFFの切り替え、横の「＋」「－」をタッチで音量調整が出来ます。



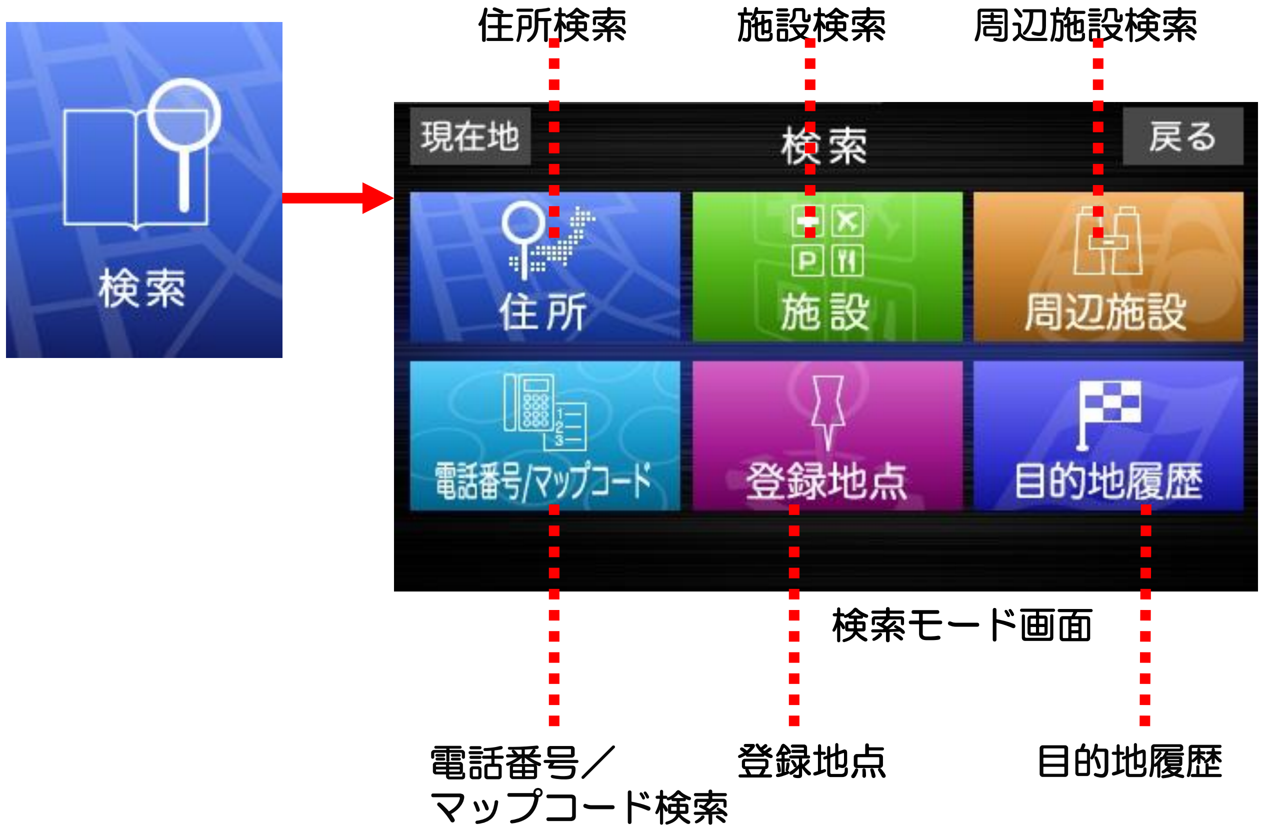
（注）「音声ON」の表示で音量がゼロでないときに、ナビ走行中の音声案内が流れないときは、本体の主音量がゼロでないかご確認ください。
本体の主音量の設定は、本体の設定画面の説明ページをご覧下さい。

3-15. 検索モード

検索モードの機能について解説します。

●検索モードの画面

検索モードでは、以下の操作が行えます。
住所、施設、周辺施設、電話番号／マップコードの検索。登録地点と目的地履歴の一覧表示と編集。



各パネルとタッチすると、操作画面へ移動します。
「現在地」ボタンをタッチで地図画面、「戻る」ボタンをタッチでナビメニューへ移動します。

※「周辺施設検索」については、地図画面の「周辺施設検索」解説ページをご覧下さい。同じ機能になります。

3-15-1. 住所検索

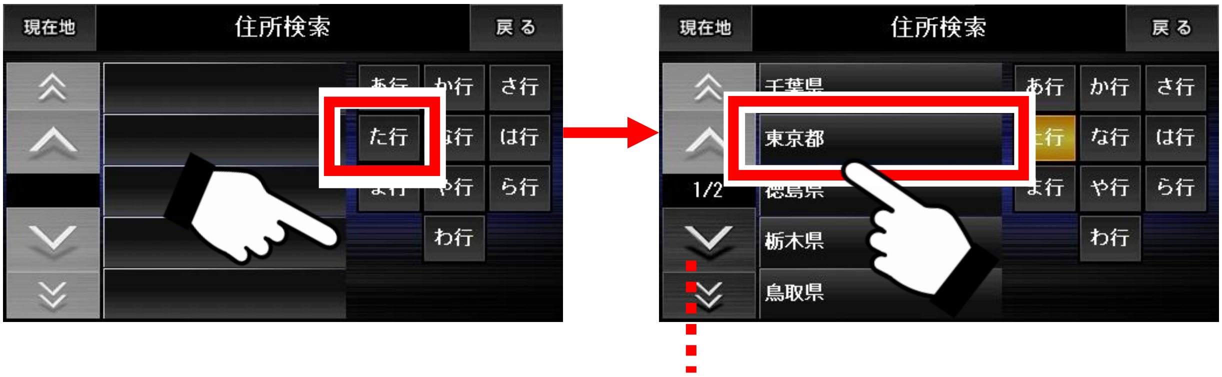
住所検索の方法について解説します。

住所検索は右の入力パネルをタッチしながら、
「都道府県→市区町村→町丁目→番地（号）」の順で絞り込みます。

① 検索モード画面の中の「住所」ボタンをタッチして、住所検索画面へ移動します。

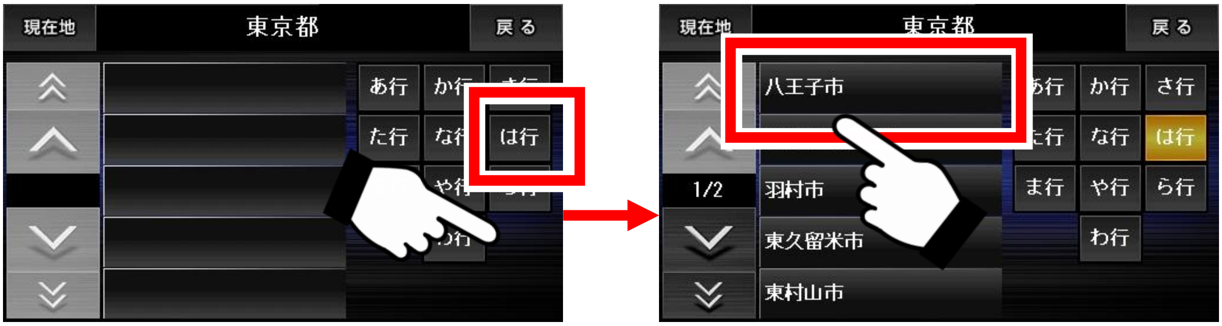
例として、
「東京都八王子市元本郷町3-24-1」を検索します。

② 都道府県の「東京都（とうきょうと）」を探します。
入力パネルから「た行」をタッチすると、候補のリストが表示されます。「リスト移動」ボタンでリストを移動して、「東京都」を探します。見つかったら、それをタッチします。



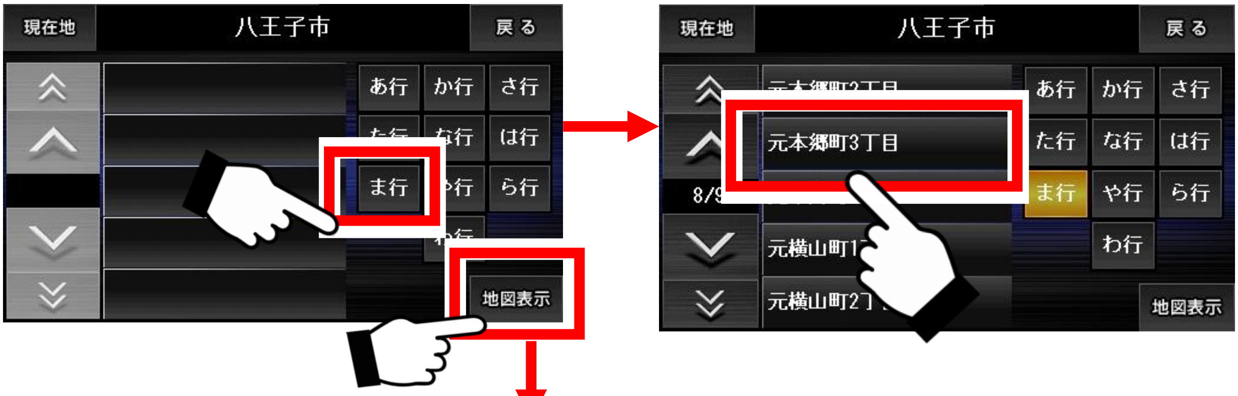
リスト移動
（端の「<<」「>>」で10ページ分移動）

③ 市区町村の「八王子市（はちおうじし）」を探します。
入力パネルから「は行」をタッチして「八王子市」を探します。見つかったら、それをタッチします。



④ 町丁目の「元本郷町（もとほんごうちょう）３丁目」を探します。

入力パネルから「ま行」をタッチして「元本郷町３丁目」を探します。見つかったら、それをタッチします。



住所入力の途中でも地図移動が可能ならば、右下に「地図表示」ボタンが現れます。
「地図表示」ボタンをタッチするとその場所の地図へ移動します。

⑤ 番地（号）の「 ２４－１」を入力します。

番地まで来ると入力パネルが数字に変わりますので、「２４－１」と順番にタッチしていきます。入力が終わり、「地図表示」ボタンをタッチすると、その住所の地図へ移動します。

※住所検索データは、全てをカバーしているわけではありません。
　表示されない地域もあります。
その場合「入力された住所が見つかりません。○○で地図を表示しますか？」と代わりの住所が提示されます。

3-15-2. 施設検索

施設検索の方法について解説します。

施設検索は入力パネルでキーワードを指定して検索します。検索結果は50音順で表示されます。さらに、ジャンルで絞り込むことができます。

① 検索モード画面の中の「施設」ボタンをタッチして、施設名称検索画面へ移動します。

例として、「秋葉原駅」を検索します。

② 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

履歴

入力パネル画面

検索方法

◎「≪履歴」ボタンから過去の検索履歴（最大5件）を表示できます。

◎ 検索方法を「先頭一致・部分一致」の2つから選べます。
先頭一致：入力した文字から始まる名称を優先して50順に表示します。
部分一致：入力した文字を含む名称を50音順に表示します。

③ 検索の結果から目的の場所をタッチすると、地図に移動します。

施設の詳細情報　　吹き出し

※施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが表示しない場合もございます。
また、データが古い場合もございます。

施設検索の方法（ジャンルで絞り込む）について解説します。

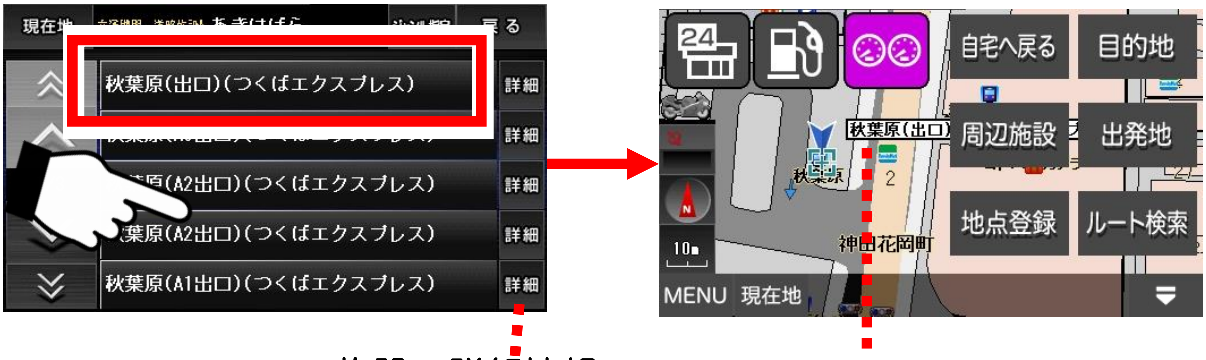
例として、「秋葉原駅」をジャンル「交通機関・道路施設」で絞り込んで
検索します。

① 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチ
します。

入力パネル画面

② 「ジャンル指定」ボタンをタッチして、「交通機関・道路施設」
をタッチします。

③ 検索結果が「交通機関・道路施設」で絞り込まれます。目的の
場所をタッチすると、地図に移動します。



施設の詳細情報　　吹き出し

3-15-3. 電話番号／マップコード検索

電話番号とマップコードによる検索の方法について解説します。

電話番号とマップコード検索は入力パネルから電話番号、マップコードを入力して検索します。

① 検索モード画面の中の「電話番号／マップコード」ボタンをタッチします。さらに、電話番号とマップコードどちらかのボタンをタッチします。

電話番号／マップコード検索画面

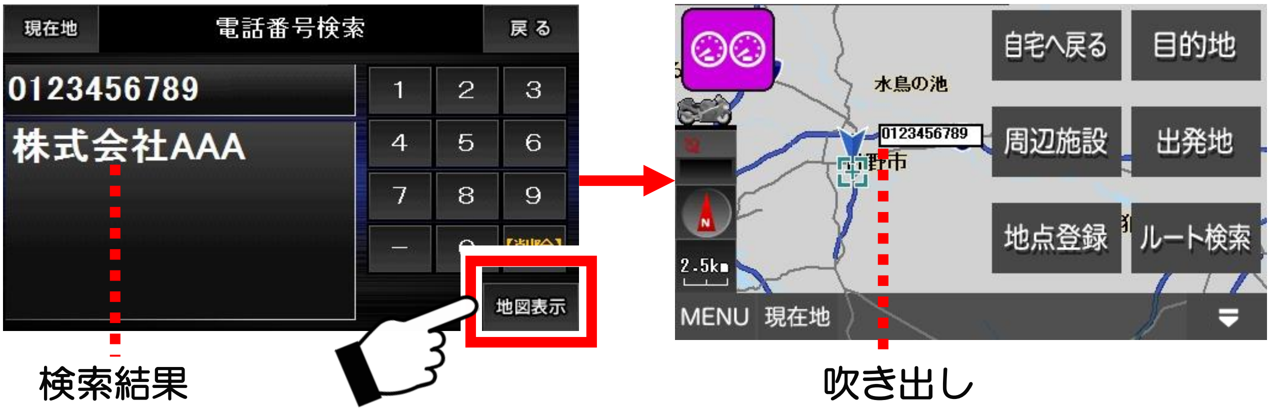
② 入力パネルから電話番号検索なら電話番号を、マップコード検索ならマップコードを入力して、「検索」ボタンをタッチします。

電話番号とマップコードどちらでも入力するデータが異なるだけで、検索方法は同じです。

※電話番号は、ハイフンを付けても付けなくても検索ができます。

※個人情報保護の観点から、個人宅の電話番号検索は出来ません。

③ 検索の結果、該当するデータがあれば「地図表示」ボタンをタッチして地図に移動します。



※電話番号データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが表示されない場合もございます。
また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

●マップコードに関して

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。
簡単な数字のコードで、緯度経度を表現することが出来る技術です。

詳しくは、下記WEBサイトをご覧下さい。
http://www.e-mapcode.com/

また、マップコードについてのお問い合わせには対応しかねますので、ご了承下さい。

3-15-4. 登録地点

地図画面で地点登録した内容を確認、編集する方法について解説します。

●登録地点の地図へ移動する

①「検索モード」の中の「登録地点」ボタンをタッチして、登録地点画面へ移動します。

② 目的の登録地点のアイコンを右のパネルから選び、タッチします。

③ そのアイコンで登録されている地点がリストに表示されます。その中から目的の登録地点をタッチすると、それがある地図へ移動します。

アイコンと同じ吹き出し2個

※ 同じ吹き出しが2個重なるのは、検索結果による吹き出しと、地点登録に保存された吹き出しが同じためです。登録地点からの地図表示は必ずこうなります。

※ 右下の「target」と書いてある緑色の旗のアイコンには、最初からいくつかの地点が登録してあります。

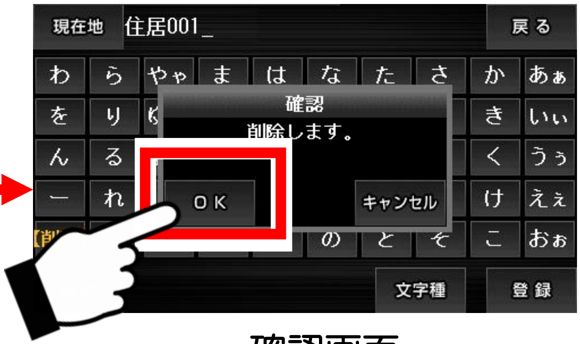
●登録地点を削除する

① 登録地点画面の中で削除したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の左下にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

編集画面



確認画面

③ 登録地点画面に戻り、削除が完了します。

登録地点画面

●登録地点の名前を変更する

① 登録地点の画面の中で変更したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の入力パネルを操作して名前を変更します。

編集画面

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧下さい。

③ 変更が完了したら「登録」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

確認画面

④ 登録地点画面に戻り、変更が完了します。

3-15-5. 目的地履歴

目的地履歴について解説します。

目的地履歴は、ルート検索で目的地として使用された場所（吹き出しが表示されている状態で目的地に設定した場所のみ）が、保存されています。

●目的地履歴から地図へ移動する

① 「検索モード」の中の「目的地履歴」ボタンをタッチして目的地履歴画面へ移動します。

② 目的地履歴として保存されているリストに表示されます。
その中からタッチすると、それがある地図へ移動します。

目的地履歴画面

吹き出し

●目的地履歴を削除する

① 削除したい目的地履歴の横にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

目的地履歴画面

確認画面

※目的地履歴に保存されるのは、検索などにより吹き出しが表示されている状態の場所を目的地として登録したものだけです。

3-16. おでかけモード

おでかけモードの機能について解説します。

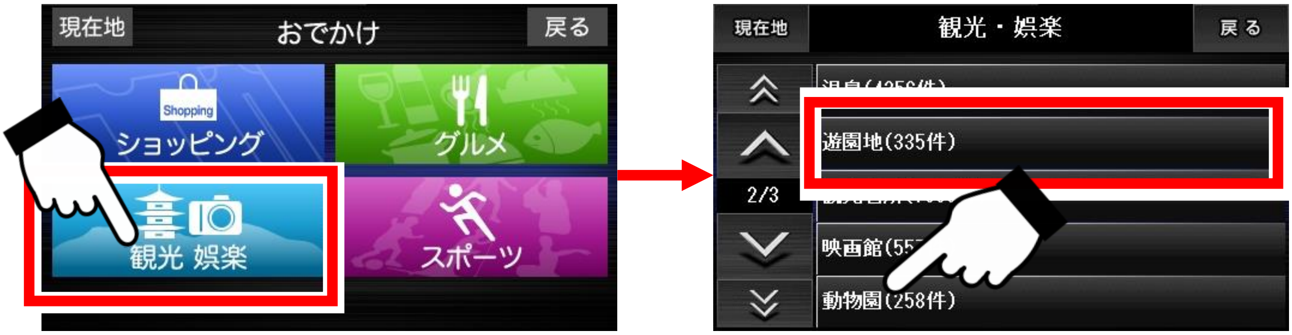
おでかけモードは、車の運転中によく立ち寄るであろうショッピング・グルメ・観光・娯楽・スポーツといったスポットが集められています。

① ナビメニュー画面の「おでかけ」ボタンをタッチすると「おでかけモード」の画面が表示されます。

おでかけボタン

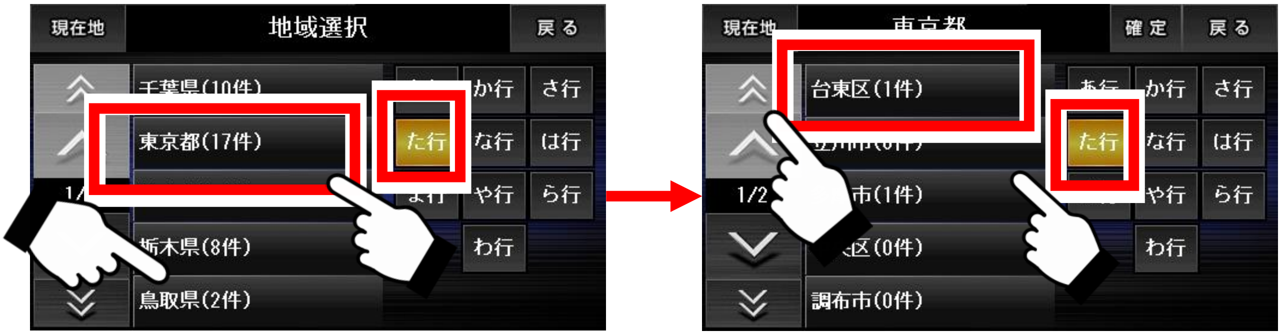
例として、「浅草花やしき」の地図に移動します。

② スポット選択画面（おでかけモード画面）で「観光・娯楽」を選びその中のリストから「遊園地」をタッチします。



スポット選択画面

③ 地域選択画面で地域を絞り込みます。
「た行」から東京、「た行」から台東区と選んでいきます。



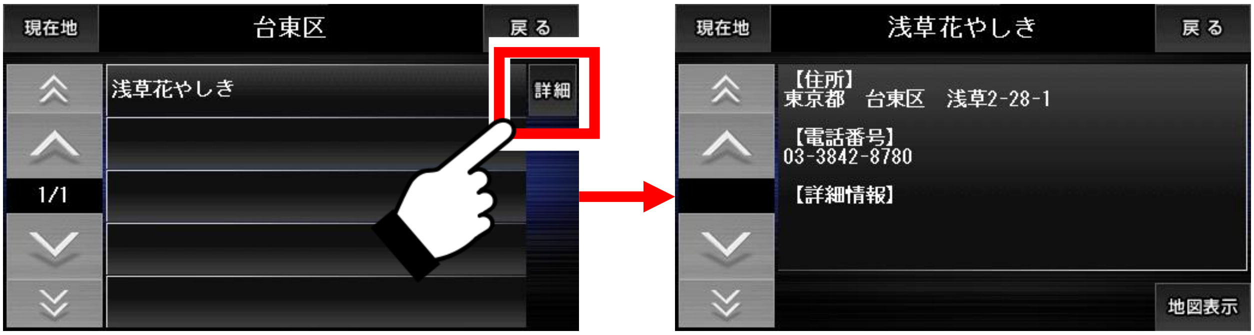
地域選択画面

※東京を選ぶと、右上に「確定」ボタンが現れます。この段階で「確定」ボタンをタッチすると、東京にある遊園地が検索対象となります。

④ 絞り込みが終わるか、途中で「確定」ボタンをタッチすると、検索結果のリストが表示されます。

リストの名前をタッチすると、⑥の地図表示へ

⑤ 目的のスポットの横にある「詳細」ボタンをタッチすると、そのスポットの詳細情報画面に移動します。



詳細情報画面

⑥ 詳細情報画面の右下にある「地図表示」ボタンをタッチすると、そのスポットの地図へ移動します。

詳細情報画面

吹き出し

※スポットデータは、全てをカバーしているわけではありません。
　目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-17. 設定

ナビの設定について解説します。
ナビメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると「基本設定」画面が表示されます。

●基本設定

「基本設定」の中で有効にしたい設定をタッチして、チェックを付けます。

基本設定画面（1ページ）

基本設定画面（2ページ）

※「地図色自動」を自動にすると、時刻によって地図色を自動的に切り替えます。地図色を昼に固定する場合は、「地図色」を昼、「地図色自動」を手動に設定します。

●アプローチチャイム設定

登録地点や目的地をターゲットに選んで、距離を設定しておくと、現在地がその範囲に入ったとき、チャイムでお知らせします。

①「設定地」ボタンをタッチします。ターゲットにしたい登録地点を選び、タッチして上部の「設定地>>」に表示させせます。表示されたら「戻る」ボタンをタッチして戻ります。

アプローチチャイム設定画面（3ページ）　ターゲット選択画面　解除

ターゲットの解除は、「ターゲット選択画面」で右下の「解除」ボタンをタッチします。「設定地>>」のところが空白になります。

② チャイム設定１、２の距離のところをタッチして、チャイムを鳴らす距離を設定します。

距離を「10km」に指定している場合、ターゲットに対して10km、9km、8kmと近付いた時に、3段階でチャイムを鳴らします。

アプローチチャイム設定をしてナビ走行を行うと、自車からターゲットまで青い点線が引かれます。
また、右下にターゲットまでの距離を一定間隔で表示します。

ターゲットまでの距離を一定間隔で表示

③ 目的地をアプローチチャイムのターゲットに含める

アプローチチャイム設定画面の右下にある「目的地」ボタンをタッチして有効にすると、目的地に設定している地点もターゲットになります。

アプローチチャイム設定画面（3ページ）

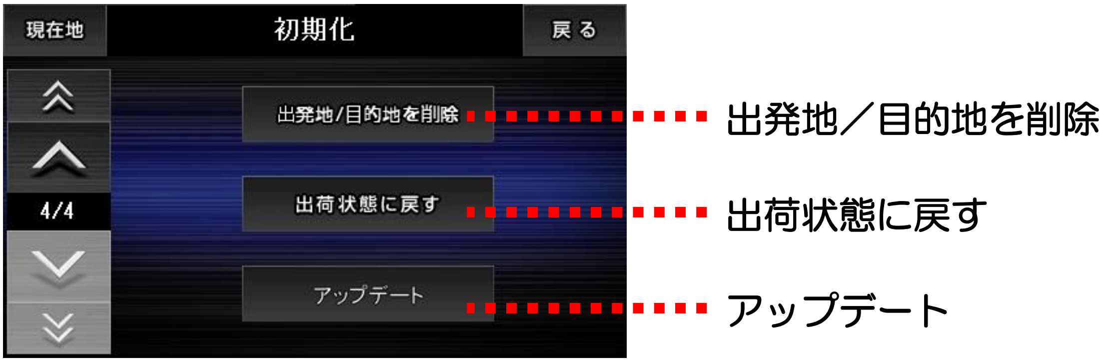
目的地のターゲット設定

OFF時
（背景が灰色）

ON時
（背景が黄色）

目的地のターゲット解除は、「目的地」ボタンをもう1度タッチします。
タッチする毎に、ターゲット設定のオン、オフが切り替わります。

●初期化



初期化画面（4ページ）

「出発地／目的地を削除」を行うと、出発地の旗・目的地の旗を削除します。

「出荷状態に戻す」を行うと、出発地の旗・目的地の旗、登録地点（自宅含む）や目的地履歴が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

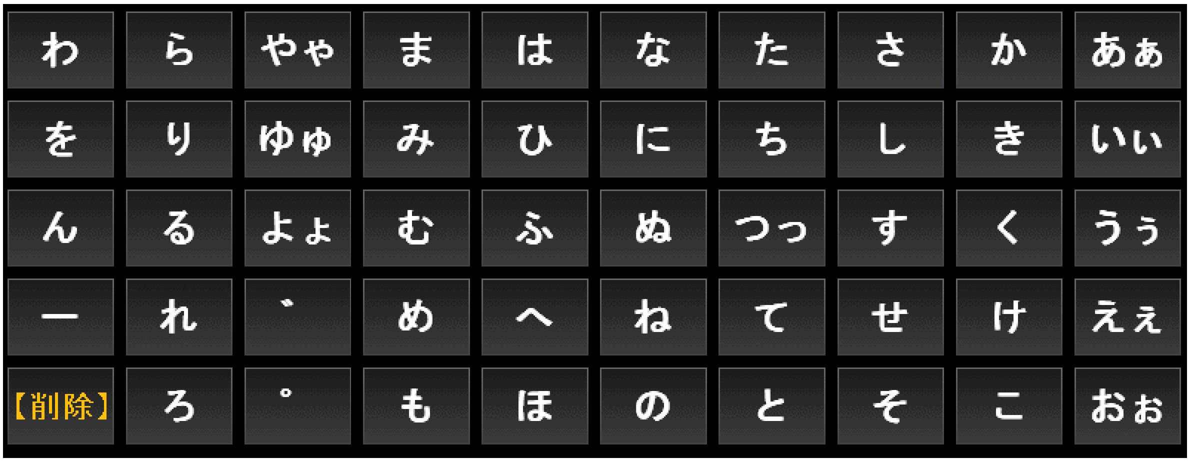
「アップデート」は、現時点で使用することはありません。
バージョンアップが可能になった段階で使用するボタンです。
バージョンアップの状況や操作方法については、サポート用ホームページでお知らせできる段階になりましたら案内します。

3-18. 入力パネルの使い方

入力パネルの使用方法について解説します。

●入力パネル

ナビメニューから施設検索でキーワードを入力したり、登録地点の登録名を編集したりする場合は、この入力パネルをタッチして行います。



文字の削除は、左下にある黄色の「【削除】」をタッチします。

小さい「ゅ」は、「ゆ」をすばやく2回タッチします。

濁音の「が」は、「か」をタッチした後、「゛」をタッチします。

文字をタッチすると、上部に吹き出しが表示されます。

（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

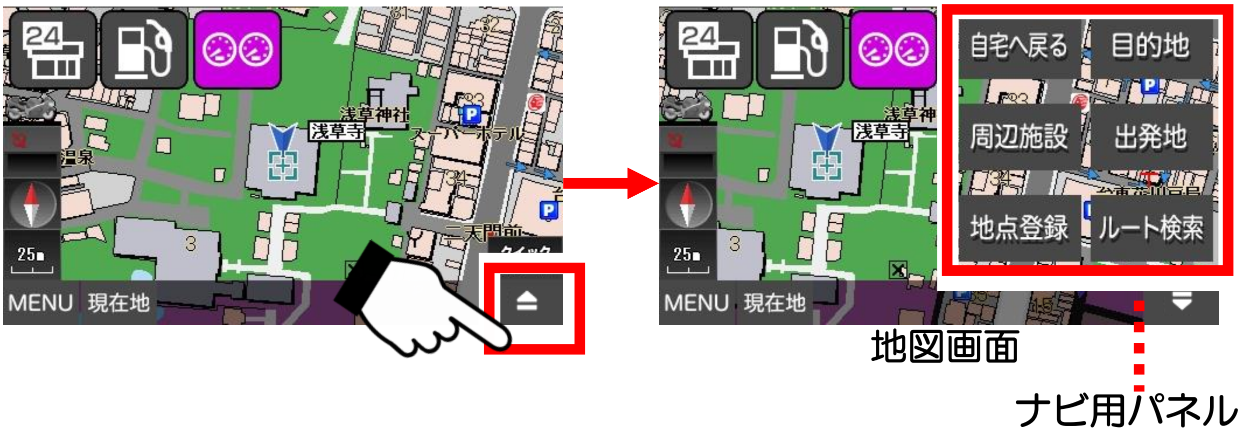
3-19．ウォーキングナビ

ウォーキングナビについて解説します。設定の手順は、ナビ走行（デモ走行）と全く一緒です。

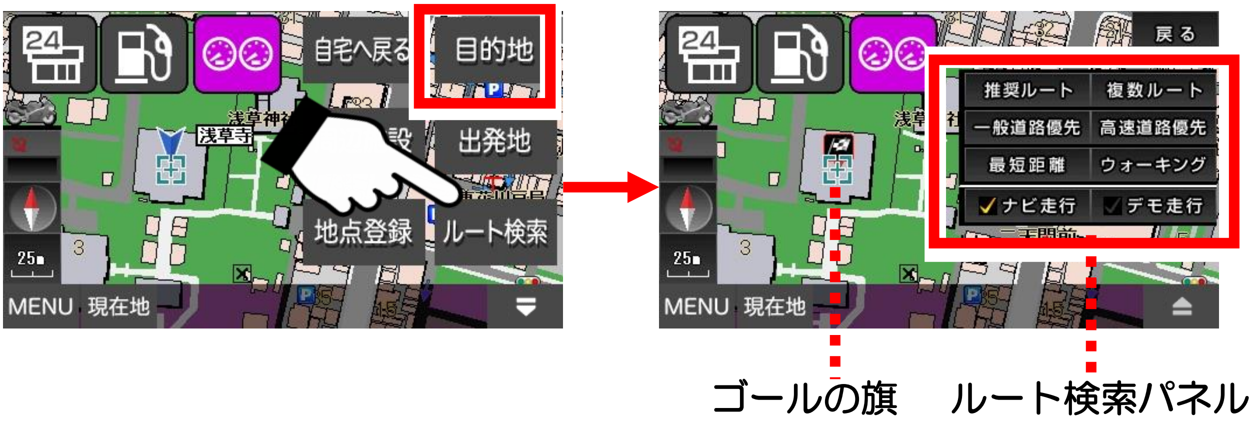
① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

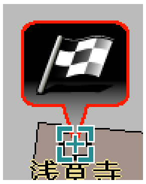
② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチしてチェックを付けて
ルートの種類ににある「ウォーキング」をタッチします。

⑤ 現在地から目的地までのルート検索が始まります。

現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

※ 現在地から目的地まで直線が引かれるので、目的地の方向が視覚的に
分かり、大変便利です。

●ウォーキングナビの注意点

※「ウォーキング」を選んだ場合、徒歩走行に合ったルートになります。

※ ナビ中に音声案内は流れません。また、車両による道路交通規制の
表示もされません。ご注意ください。

※ あくまでも歩行の目安として、実際の道路規制に従って、歩行して
ください。

※ ナビ画面をご覧になる際やナビ操作をするときは必ず立ち止り周囲の
安全を確認してから行ってください。

※ ウォーキングモードは、自転車に使用できません。また、自転車専用
道路地図は搭載しておりません。

Q、現在地が表示されません。

現在地はGPSを受信して表示しますが、数分程度かかる場合もあります。GPSの電波が上手く受信出来ていない可能性もございますので、衛星配置図を確認して、受信状態の良い場所へ移動する等してみて下さい。

Q、ルート検索に失敗します。

ルート検索に失敗する場合は、出発地と目的地をずらす等して再度、検索してみて下さい。また、実際のナビ走行では、出発地はGPSから受信した現在地になりますので、GPSの受信状態を確認してみて下さい。

Q、ルート検索の結果がいつも通っているルートと違います。

ルートはナビソフトが計算した結果を表示しています。ルートによってはどうしてもお客様が望まれる結果にならない場合もございます。３種類あるルートの計算方法を変える等してみて下さい。
結果のルートを変更する事は出来ませんので、予めご了承下さい。

Q、自車とナビとの位置と進行方向が違うときがあります。

GPSのアンテナの性能や受信状態によって、位置にずれが生じたり、進行方向が安定しない場合がございます。予めご了承下さい。

Q、検索しようとしても目的の場所が出てきません。

検索のデータが全てをカバーしていませんので、お客様が探している目的の場所が表示されない場合がございます。
その場合お手数でございますが、近くの場所の地図を検索してから地図上をタッチして目的の場所へ移動する等して下さいますようお願い申し上げます。

Q、音声が流れません。

ナビメニューの左下が「音声ON」の表示でボリュームがゼロでないことと、本体の音声がミュート状態（無音）になっていないか、このふたつを確認して下さい。

Q、検索したルートに違和感がある。

ナビのルート計算は使用する道路の規模や施設などを参考になるべく違和感の無いように本線優先でのルート案内を判断する様に作成しておりますが、例えば現在走行中の道路に対し側道に案内をして再度現在走行中の道路に戻されるルートを引く場合など実際の走行経験から考えますと違和感があるルートになる場合があります。

4．制限事項

本製品には、以下の制限事項があります。

①本製品は、ＧＰＳの測位によりナビゲーションを行っています。
従って、ＧＰＳの測位が出来ない場所（室内や電波の入りずらい屋外等）では利用できません。

②ＧＰＳの受信状況により車両の位置が地図に描かれた道路上に正しくのらない場合があります。

③特にルートを設定しないフリー走行の場合、道路からはみだしたり、実際とは異なる道路上を走行する場合があります。

④ルート案内はあくまでも目安であり、日時規制を考慮しています。ただし、車種は考慮していません。

⑤目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻は、あくまで目安としてご利用ください。

⑥フェリーを使ったルート案内は行っていません。

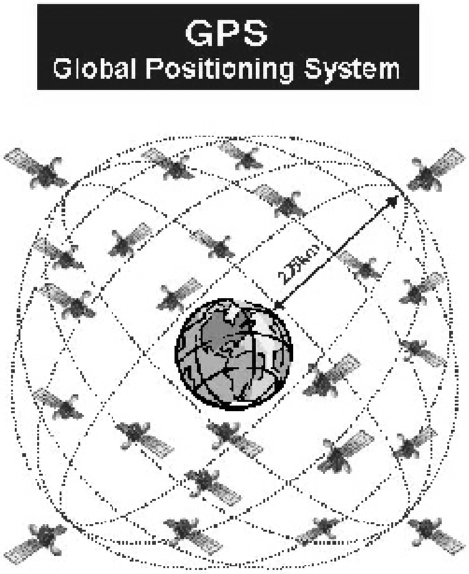
⑦細街路もルート検索の対象です。ただし、細街路の整備状況は地図データによるため、ルート検索の対象外となる細街路もあります。

⑧自動リルートが行われるタイミングは状況により異なります。ルートから離れた距離によって一律に行われるわけではありません。

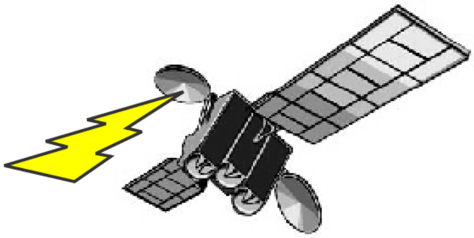
⑨一般道優先でルートを引いた場合、一般道を優先しますが、必ずしも一般道だけでルートを引くわけではありません。

⑩本機のルート案内において、時間規制表示等の交通ルールが定められている場所では、そこでの交通ルール表示に従って走行してください。

5. GPSの基礎知識



【GPS】Global Positioning System
人工衛星を使った全地球測位システム。宇宙部分(6つの異なる軌道に24の衛星NAVSTAR)、制御部分(5つのモニター局、1つの主制御局、3つのアップロード局)、ユーザー部分(GPS受信機)で構成されている。



【NAVSTAR】NAVigation satellite Timing And Rangin

GPS衛星に付けられた名前。NAVSTAR衛星は、軌道高度約20.000km、周回周期0.5恒星日(約11時間58分)、6枚の軌道面に4個ずつ合計24個の衛星で全システムを構成し、複数のセシウムおよびルビジウム原始時計を搭載している。

【アルマナックデータ】Almanac Data

利用可能な全衛星の概略の軌道周回情報で、1度取得すれば、1週間程度利用できる。

【エフェメリスデータ】Ephemeris Data

現在位置を担当する観測衛星の詳細な軌道周回情報で1度取得すれば、1時間程度利用できる。エフェメリス・データを利用して衛星の位置を求め、現在位置を計算する。

【ホットスタート】Hot Start

エフェメリスデータ、マルナマックデータ、時刻データ、前回測位データが有効な状態で測位を開始すること。

【ウォームスタート】Warm Start

詳細な軌道データはないが前回測位時の衛星捕捉に関するデータを利用して、衛星の捕捉を開始することで衛星の捕捉時間を短縮できます。

【コールドスタート】Cold Start

前回の測位から1ヵ月以上過ぎている場合や、前回の測位地点から500km以上離れた場合でGPSを行うときは、新しく衛星軌道情報を収得して初期状態から測位を開始すること。

6. お問い合わせ先

※電話番号の掛け間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

発 売 元

機器に関する問い合わせ

株式会社　カイホウジャパン

E-MAIL ：Info@kaihou.com

TEL ：042-631-5357

FAX ：042-631-5359

営業時間 ：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

ナビソフトの操作方法

ソフトに関する問い合わせ

サポートページ ：http://www.mapnet.co.jp/kaihou

E-MAIL ：mapque@mapnet.co.jp

TEL ：03-3516-6080

FAX ：03-3516-6387

営業時間 ：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

※地図内容、ナビモード時の動作に関しては、
こちらへお問い合わせください。

株式会社　カイホウジャパン

〒192-0906
東京都八王子市北野町598-11

TEL:042-631-5357

FAX:042-631-5359

http://www.kaihou.com /